大正天皇祭

京城日報

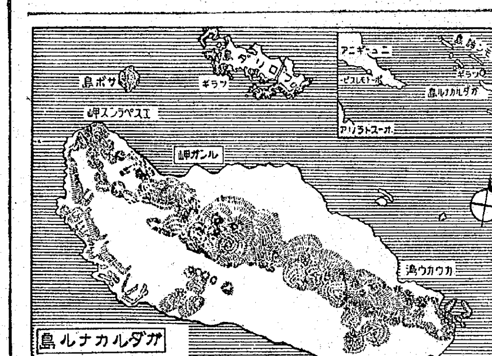
朝刊 本日朝夕刊共六頁

本紙定價 一部金六錢 …… 定期發行物 京城日報 …… 京城日報社

精悍、眞つ向から肉薄攻撃 前古無比、水雷戰隊の奮戰

悽愴・ルンガ沖夜戰詳報

【軍艦〇〇にて 淡野海軍報道班員廿四日發】鏡のやうに冴えかへる〇〇の灣內にそれは靜かに浮んでゐた一隻、二隻、眼前にそれと見る艦隊は南海の波と潮風に洗はれていまはすつかり色あせてゐる、隣戰幾月、渺々たるそれの何處にあの慓悍、あの殺氣、無限の威力が藏されてゐるだらうか、あの砲塔、あの發射管、無限の力を秘めて靜かに憩ふこの驅逐艦こそ『ルンガ沖夜戰』の勇者第〇水雷戰隊なのだ『ルンガ沖夜戰』それは開戰一周年を控へて帝國海軍が國民に贈つた最大の贈り物であると同時に世界海戰史に一大光芒を放つた大戰果であつた十一月卅日わが第〇水雷戰隊はルンガ沖において待機せる戰艦、巡洋艦、驅逐艦より成る壓倒的な米艦隊の眞つ只中に飛び込んで戰艦一撃沈、巡洋艦一撃沈、驅逐艦二撃沈、二大破の大戰果を擧げた、水雷戰隊が戰艦を轟沈した先蹤は僅かに日清戰爭の威海衞攻撃あるのみであり、しかも今回の海戰が敵の待機せる手許に飛び込んで米海軍の虛を完全に衝いたことを思へば、その勝利は如何に讃へても足りないのだ、戰術的には考へられぬやうなこの大戰果、それはあの歴史的な第一次ソロモン海戰に比し決して劣らぬもので、さらに戰敗の恥を雪ぐべく出撃し來つた米海軍および米國民に與へた衝動に至つては想像に餘りあらう、海戰の經過が如何に凄絶極まりないものであつたかは旗艦に坐乘した〇〇司令官が第〇驅逐艦旗艦を訪れるや言下に『いや、すごかつた』といはれたことによつても窺はれる、このルンガ沖海戰において特にわれらの感謝と感激措く能はぬものは驅逐艦〇〇の奮戰である、〇〇は戰隊先驅し逸早く敵艦隊を發見、敵艦隊の集中砲火の中に孤軍奮闘、敵驅逐艦四隻に大火災を起さしめ(うち二隻沈沒)敵艦隊擊滅の中樞をなし、自らは遂に南海の華と散つたのだ、その悽愴なる奮戰は萬古に比なく、われらは水漬く屍と散つた將兵に無限の感謝を捧げるとともに大東亞戰爭最後の日まで石にかぢりついても頑張らねばならない、蒼古の大戰果を記錄した第〇水雷戰隊は引續き戰爭を續けてゐる、こゝに一周年はないこの言語に絶する敵に應へるに銃後は果して完璧であらうか、以下は沈沒後、艦と敵機の掃射下に〇海里の海上を突破した殊勳の〇〇艦艦の全貌である



蒼空に黑一點、敵哨戒機

〇〇の任務を帶びたわが第〇水雷戰隊は廿九日〇時〇〇を靜かに滑り出た、旗艦〇〇以下〇隻の驅逐艦は針路を〇〇にとつて次第に速力を速めた、ところどころに白雲を浮彫りにした空は晴やかに頭上にかぶさり、瑠璃色に映え渡る海面はなんの衰備もなく澄つてゐた茫漠たるその海面に生あるもの、後を刻むのは眞つ白く盛り上り消え去るわが驅逐艦の航跡と、時折艦首の波から飛び立つ飛魚の可憐な海鳥の影だけである、しかし作りつけた人形のやうに眼鏡にしがみついた見張員は青い深淵のやうなこの空と海に一秒といへども警戒の目を弛めはしなかつた、そして海戰の前觸は出航後〇時間のゝち閃光のやうにこのレンズの中に飛び込んで來た

〇時、突如『敵機發見』の報は飛んだ、遙か彼方の蒼空にぽつりと黑い機影が一つ、ボーイングらしい、徐々と弧を描きながら、わが方を窺つてゐる、全員は直ちに配置についた、艦はぐつと速力を速めた、白い波濤が艦首から眞つ二つに高く盛り上り轉舵の度にどどーんと波は艦腹を叩いた、畜生『來やがつたな』レンズの中に高く低く旋廻する敵機を見てわれわれは舌打ちした、そして幾時間かのちに襲來するであらう敵艦隊がボーイングの大群を豫想して私の全身は緊張にこはばつた

戰ひの序幕つひに開く!

海と空との間に灼けつくやうな無言の敵視がつゞくことまる十分敵はわが哨戒機の追撃に怯えて雲の彼方に消え去つた、戰ひの序曲は奏でられたのだ、わが艦隊を發見した敵機の通信によつて敵艦隊各空軍は われを邀撃せんと待ち構へてゐるだらう、だが、その時こそあの血のにじむ訓練の成果を發揮出來るのだ、依然たる艦飛裡に艦隊は整々と波を蹴つて進む、太陽はすでに中天から西に傾つて落ちはじめた、午後〇時、わが旗艦は一通り情報を受取つた、われわれの行く手に敵がゐるらしいといふ艦隊司令部からの注意の無電である、ついで〇時、同じく司令部から發せられた一瞬の無電がわが第〇水雷戰隊の前途をはつきりと照し出した

『ルンガ沖に敵艦艇十二隻、輸送船若干あり』

さうか、哨戒によつてわが陣容を弱少と見て恐らく待機してゐるのだらう、敵にとつて戰敗の恥を雪ぐべき絶好の機會に相違ない、よしツ、飛びこむのだ、ぶつかつてやつつけるのだ、今までにない水雷戰隊だけの突撃、永年鍛へに鍛へぬいた猛訓練の手腕を示すため、天はルンガ沖に敵艦隊を驅いてくれたのだ、艦がぶるつと身震ひして速力を早めた、艦內では悠暇な必殺の氣合がたちこめた、すでに配置についた總員のどの顏にも鋼も突き通すやうな緊張と必勝の念が溢れてゐる、艦の隅々まで空氣さへ何時とは異る激しさである、とくにわが驅逐艦が生命とたのむ魚雷を見よ、風雨と潮に汚れた艦內にたゞこれだけは一點の汚れもなく鏡のやうに磨かれてゐる、それはとりもなほさずわれらの化身といへるのだ、よし完全だ艦はいま一本の魚雷になりきつたやうに猛らに突き進んでゐる

漲る殺氣、目的地は近し

灼けたゞれた太陽はゆるやかに空を辷り落ちやがて金色の塊となつて西の海に沈んだ、闇が殘照を蝕みおしひろがり艦影を抱きしめた、碎ける波が夜光虫に彩られて蒼白い夢の華を咲かせた、全艦完全な燈火管制だ、目的地に近い、そしてわれ〱の緊張も刻一刻バネを壓縮するやうに昂まつた、このころ天候は次第に險惡となり〇〇附近に差しかゝつたときは一大スコールに襲はれた、しかも周圍の海面はリーフ(小珊瑚礁)が多い、操艦は甚だしく困難となり時間は容赦なくすぎてゆく、豫定時間に遲れてはならない、航路を見定めた艦隊は全速で目的地に急いだ、月のない暗黑の海上を索敵を孕んだわが艦隊は進んだ、サボ附近の敵は何時何處から現れるか見張員の灼けつくやうな瞳がこのとき敵機を發見したのだ、四機だ、かなりの低空を哨戒してゐる、あゝ赤青の標識燈がはつきり見える、敵もわれを發見したらしい、夜光虫の渠がわが艦の後を海に印すのだ、敵は翻弄してゐる、空に彼は星もまばらな大空を右へ左へと赤青の標識燈を見せて飛ぶ敵機、敵艦隊はもう近いのだ、しかも暗黑の海上に視界はわづか〇千メートル、眞艦先驅のわが〇〇の使命は重い、敵發見が遲れんか、わが全艦隊の運命は憂慮に堪へない

敵艦見えたりすべて七隻

午後〇時われわれは迎へ狼をくつつけたまゝガダルカナルの北岸に來た、その時である『敵艦見ゆ』の聲報がとんだのは『左四十度に黑いものが見える』眼鏡にしがみついてゐた信號長が叫んだ、つゞいて信號長が『敵驅逐艦のやうである』あゝ見える、見える、黑い煙をひいた海上にぽうつと黑く敵艦がある、あゝ一隻、二隻、三隻、すべて七隻、なほ後續艦が砲艦につゞいてゐるらしい、敵は廿四ノツトの速力でわれに反航する、見る見る距離は縮つてゆくのだ、わが艦隊は直ちに旗艦に信號を發するとともに司令は凛然『戰鬪』の號令を發す

時に廿時〇分、わが〇門の砲塁がぐぐつと左旋回してぴたつと敵に向けられた、暗黑の海に今や敵との距離は押し縮まり、殆ど直角に近づいた

敵二番艦に初彈命中

砲術長が發令所で叫んだ『射撃用意よし』その時後方にぱつと橙色の閃光が光つたと見るや、敵の初彈が空を截つてわが艦上を飛び越えた、つゞいて二齊射、三齊射、しかしその次の瞬間待ちに待つた『射方始め』がかゝつた、〇門の砲が一齊に火を吹いた、ぴりぴりと艦は震動する、さらに齊射はつゞく、今や海戰の幕は切つて落されたのだ、後方の海上にぱつと赤い火が燃じた、それがはたと止んで一瞬の闇に歸つたと思ふ次の瞬間、ぼーつと焔があがつた、敵の二番艦に初彈命中だ、眼鏡にとりついた信號長が叫んだ、あゝその時の感激、なんといつていゝか胸の底から重い塊が飛び出したやうな興奮に、わたくしは喉中が熱くなつた、しかし、つぎの瞬間、一彈は飛び來つて早くも信號長を艦橋に倒した、おゝ唇を噛む私の眼前に敵彈は躍る、敵は夢中になつて照明彈を射つて來た、同時に頭上の敵機も吊光投彈を落下する、周圍は光の簾を張り巡らしたやうにぱーつと明るくなつた、それは『歸ける踊場』そんな感じのする血なまぐさい明るさであつた、しかも何たる幸か、敵の後續艦は不覺にも艦列の先端に向けて照明彈を送つた、おゝ見える、その光芒の下にわが初彈を喰つて燃える敵艦の焰がわが隊く射撃を邀へてくれたのだ

續いて三番艦、四番艦へ

本隊はまだ事態をはつきり知らないらしい、敵もまたわれを一隻と思つたらしい、一齊に集中射撃だ、見る〱艦の周圍には水柱が林立する『巨大な藪のやうに限りなく林立する見上げるやうな』といふがそんな暇はない、大口徑砲彈らしいのが落ちて來て目の前が全然遮られ何も見えなくなつた、その隙間から初彈の命中を擬瀬すれば、敵の二番艦はすでに何發か命中彈を喰ひ炎々と焰をあげつゝあるそれと見るや砲術長は些かの遲疑逡巡もなくたゞ一言『急げ』と號令する、何の修正もない砲術長は自分の第一彈で最良と思ふ最初の照準諸元をかへず敢として命じたのだ『急げ』その砲彈は恐るべき正確さと早さをもつて敵の後續艦に悉く命中した、照明彈と大水柱はあらゆるものを眼前から遮りわれはたゞその合間々々に敵の發砲を見つゝ敵二番艦から五番艦に射つた、砲戰今や酣、わが〇〇の後方隊後にガダルカナルの山脈を擁うた本隊は敵から隱蔽され、今やわれは獨り敵の砲線に捕捉された、その中に敢然迫るわが砲彈はつゞいて敵三番艦に四番艦に、間斷なく敵艦にまづわが發雷に命中、ついで汽罐室には〇發の砲彈が命中した、無念、既に殆ど行動不能だ、艦は殆ど停止のまゝ砲擊を續けてゐる、それを見た敵艦隊は驚くべき多量の砲彈をわれに集中した

無念、我にも敵の集中彈

彈と彈とがつながつて空中の凡ゆる角度から降り注いで來た、まづ砲塔がやられた、敵彈は砲塔を貫き射手を吹き飛ばした、その時

悲壯『敵艦未だ沈まずや』

たゞ一人殘つたK一等水兵は未だ砲の操作もよく知らぬ身でありながら砲にしがみついて最後の一發を發射した、ついで〇番砲塔もやられた、そして最後の砲塔も敵彈に貫かれた、あゝ沈默せるわが砲よ、おゝその時〇〇番砲が射いた、血まみれになつた砲手らがよろめきながらとつゞいてゐるのだ、一發、二發、最後の力とをこめて彈丸は飛んだ、敵の五番艦が狂氣のやうに火柱を上げた敵彈はます〱猛烈だ、見る〱死傷者は續出した

私の前二尺のところに立つてをられた艦長があつといふ間に腹部に直撃彈を受けて倒れたと思ふつぎの瞬間、横の兵が戰死した、〇分魚雷發射だ、始めから魚雷長に『艦長射ちます〱』とせがんでゐたのに、魚雷は水柱の間を縫ひ彼方の海上をくぐつて行く、その瞬間であつた、敵全艦がどつと身振ひする大轟動とともに敵の巨彈が發射管に命中した、發射前ならば一瞬にして轟沈されたことだらう、しかし見よ、水柱の彼方遙かにわが魚雷は敵に命中大火柱を擧げてゐるではないか、水雷長は腹部に重傷を負ふて倒れた、しかも果然に『魚雷は命中したぞ、しつかりせい』と勵ましてゐるのだ

すでにこのころ敵彈を蒙ること實に〇〇發、艦內には至るところ大穴があいて室內に敵彈一本建てゝもその光が外に漏れるのであつた、それは穴のあいた艦といふより千切れた部分々々をちぐはぐにくつゝけたといつた方が事實だらう、蒸氣は吹き出して熱が艦內をこめ、ひつきりなしに物凄い音聲がはじけた、敵全艦が『うおーつ』とどよめきに包まれ、ちやうど急行列車の驀進するレールに耳を押しつけたやうであつた、しかも本艦は不屈の英雄の如く艦首の身を海上に浮べてゐた

その名狀すべからざる悽愴な情景の中に繰展げられたわが海軍魂の發露を私は永久に忘れることは出來ない、前砲塔が破壞され今は止むなく砲術長が艦橋へ降りた時であつた、一人の水兵が重傷の身をよろめきつゝ砲術長の傍へ這ひよつて來た、見れば前半身は水を浴びたやうな血糊で眞黑になつてゐる、彼はかすれた聲で尋ねた『砲術長本艦の彈丸はあたりましたか、敵は沈みましたか』

辛うじてさう尋ねた彼は、砲術長が『あれを見ろ、敵は大火災を起して沈みかけてゐるではないか』と燃える敵艦を指すと砲術長に摑つてよろりと立上り敵艦の燃えるのを見るや『よかつた』と呟き砲術長に抱かれながらにつこり笑つて息絶えた、かく悽愴たる集中砲火に曝されつゝわが艦は〇分間に、〇齊射を送り敵の二、三、四、五番艦四隻に大火災を生ぜしめた、如何にそれが正確的確であつたか

意外、眼前に敵巨艦 必殺の魚雷、忽ち轟沈

燃える敵の四艦は大篝火のやうに眼前に燃えてゐる、その火焔の前にヌツと姿を現したものがある、巨大なその艦影、先頭はまぎれもない巡洋艦だ しかしその後にあるのはわれ〱が想像もしなかつた巨艦ではないか、戰艦！われらの胸は灼熱した、くろ〱と巨艦をわきあがらせて敵戰艦は火焔をバツクに進むと見るやがて本隊は果然肉薄攻擊だ、旗艦以下の〇隻が奔馬のやうに肉薄してゐる、くろ〱と巨艦にちらつく〱と精悍な姿が見る〱近づいてゆくと見るや『あゝ魚雷發射だ』『やつたー』一大火焔が天空をつき破つて吹きあげた、命中！命中！しかも引つゞき各艦は嚴然粛然と魚雷を送る、何といふ堂々たる攻擊であらう、およそそれは普通の水雷戰隊の正攻法とは異る眞に眞向からぶつかつての肉薄攻擊だ、こんな壯烈な攻擊がかつてあつただらうか同時に巡洋艦がぱつといふ間に大火柱のもとに轟沈された、萬歲！われ〱は渇た喉をしぼつた、つゞいて大戰艦が海上を振はせた『あつ』といふ間に巨艦の何十倍もある火焰がぐわつと上り、その下に小さく見える敵戰艦が前檣をぐつと焰の中に突込んで瞬く間に沈んだ、そのときわが僚艦〇〇は敢然敵の眞近に突込んでぱつと探照燈を向けた、あり〱と浮き出た敵米の戰艦、あゝ！特徴ある塔型の前檣柱がくつきりと見える

瞬時に撮へたその優姿こそ米の誇る最新鋭、公稱三萬五千トン、十六インチ砲搭載のワシントン型ではないか

あゝ殊勳の〇〇、尊き犠牲

敵の巨艦が續りに灼つたわが艦の猛射をうけてなほ燃えつづける敵艦を縫いて海上は再び闇に包まれた、その間に本艦は行動不能となつて今は氣息奄々たる、艦長なく乘員は大部分死傷し行動不能となつて今は氣息奄々たる〇〇である『よくやつたぞ』さういつてやりたい〇〇、しかしこの懐かしい〇〇もあと僅かの運命なのだ、總員退去、〇時司令の命令が降つた、筏が組まれた、眞先きに艦長の遺骸が乘せられた次に重傷の水雷長を乘せようとすると彼は『おれは駄目だ、重傷者を乘せろ』といつてきかなかつた、總員退去に臨んで『天皇陛下萬歲』が三唱されついで〇〇〇萬歲が唱へられた、艦はすでに六〇度に傾斜した、そのころ彼方で猛烈な砲聲が起つた、ふり返ると彼方に火焔があがつてゐる、支離滅裂となつた敵が同志討ちを演じてゐるのだ、何といふ哀れな醜態であらう、そして海中に飛び込んだ、艦のものも海中のものも名殘りを惜んで離れきれない、沈沒と同時に渦卷に吾き込まれてはならない、しかし舷側を離れるともなく皆がその最期を見届けようとするのだ

刻々艦は沈んでゆく、艦の中から『君が代』が聞えて來た、その聲は段々擴がつて〇〇の周圍を取圍み、その武勳を讃へ悲壯な最期を弔ふかのやうに流れていつた、その時、敵の魚雷艇が近よつて來た、そ奴は沈みゆく〇〇の傍まで寄る〱やつて來ると機銃を發射して逃げ去つた

動かざる〇〇の艦橋に百メートルもある水柱がすツとあがつた、ついで激しい震動が海中のわれわれの體に響いてきた、孤軍奮闘、克戰した敵艦隊に向ひあの武勳を樹てた〇〇は今や沈んでゆく、涙に咽ぶ慟哭の〇〇よ君が代が一しきり高まつて來た、〇〇の艦と艦と共に送られて〇〇は遂にルンガ沖の華と散つたのだ

『〇〇よ敵艦隊は擊滅したぞ、大東亞戰爭の最後までおれたちは戰ふぞ』

沈みゆく〇〇に總ての言葉をなげてわれ〱は暗黑の海を泳いだ

畑總司令官 上海方面視察

【南京廿四日同盟】支那派遣軍報道部廿四日十一時發表=畑總司令官は廿日以來上海、寧波、杭州方面の軍狀を視察し昨二十三日歸還せり

社說 香港攻略一周年を迎ふ

一

けふ十二月廿五日は香港攻略一周年記念日である。いふまでもなく香港は阿片戰爭の結果、一八四二年南京條約によつて英國が淸國をして割讓せしめて以來百年の長きに亙り、支那蠶食の策源地・東洋征覇の前進據點として、飽くなき野望を逞しうし以て大英帝國の威を天下に誇稱し續け來つたところである殊に支那事變勃發以來五ケ年に亙り援蔣の策源地乃至援蔣物資補給の中心地として、如何に惡辣執拗なる策謀行爲を持續してゐたかを我等は斷じて忘却することは出來ない。

從つてこれが攻略は英國の百年に亘る支那蠶食乃至東洋侵略の根據地を覆滅し、抗日蔣介石軍に對する軍需補給の輸血路を一擧に遮斷したといふ作戰效果のみならず、大英帝國東洋征覇積年の野望が先づこの一擧によつて見事に粉碎せられたことを意味し、延いては、大英帝國大廈崩壞の端緒がこゝに切られたといふも過言ではない。而して事實は歷然にこれを立證してゐる。

二

その後僅か半歲足らずの間に、難攻不落を誇つたシンガポールの陷落をはじめとし、マライ、ボルネオ、ジャワ、ビルマ等々廣大な英領植民地相ついで攻略され、今やインドの運命と共に大英帝國最後の運命が決せられんとしつゝあることは何を物語るか。

また顧つて、香港攻略の歷史的事實は何を物語つてゐるか。大東亞戰爭勃發後僅か四日にしてその最大前衞據點九龍が皇軍の手に歸し、次いで總攻擊開始以來僅か十四日にして香港が攻略されてゐる。戰前三ケ年間英軍が如何に香港の防備工事に狂奔したかは、彼等が『敵が如何に精强なりとも優に六ケ月乃至一ケ年の籠城は可能なり』と豪語してゐたことによつて多言を要しない。然るに、攻擊開始以來前後十八日の驚異的短時日を以てこれを攻略し去つたことは皇軍ならでは斷じてなし得ない世界史的驚異でなくてはならぬ。而して攻略後こゝに滿一年、去る一月十九日磯谷總督就任以來舊態を一掃した磯谷總督の新政下に、新東亞の息吹き顯著なる新香港の出現を全世界に誇示しつゝあること周知の如くである。

三

かくて歷史の必然に基き、我が肇國の大精神八紘爲宇の大理想を目標とせる大東亞共榮圈の確立が、先づ『最初の香港』からその緖につき、盟邦の新占領地の全般に擴大せられつゝある厳然たる事實に對し、こゝに香港攻略一周年記念日を迎ふるの意を深うするのは吾人の欣快とするところである。

しかして大東亞の新秩序、世界の新秩序は、時の推移と共に漸次實現の步を進めてゐる。

こゝに輝く香港攻略一周年記念日を迎ふるに方り、護國の神となつた英靈に敬弔の意を表し、併せて戰場に對して心からなる感謝と敬意を表し、倂せて幾多の戰傷病將兵諸士に對して速かなる快癒と再起奉公を祈念して已まないのである。

一億の同情を結集 敵國在留同胞對策委員會

【東京電話】敵國在留同胞の救恤慰問、激勵を目指して海外同胞中央會以下廿二の對外團體では先般來『敵國在留同胞對策委員會』の結成準備を進めてきたが議長に元外相有田八郞氏をはじめ役員の顏觸れも揃つたので廿四日正午から大東亞會館で關係官民約八十名列席の上結成式を擧行した、國民儀禮、有田議長立つて

敵國米英およびその屬領に在留する同胞が大東亞戰爭以來抑留されあるひは强制移住され粒々辛苦の結果築きあげた地盤は水泡に歸するの悲境に直面しまたわれ〱が大御稜威のもと赫々たる戰果により大東亞建設に參加することの出來る幸福に比しても多くの困難を舐めつゝあり、米英に依存する諸國にある同胞に對してこれら同胞に對しては洵に同情に堪へない、明治元年ハワイ移民がはじまつて以來七十餘年南北米大陸、南方諸地域また遠く歐洲に在留せる同胞はわが民族海外發展の先驅者であり身をもつて八紘一宇の大理想を顯現し財政經濟的にも祖國に貢獻するところ極めて大きく、また在留國によつて不毛の地を開拓し沃野と化し産業上幾多の貢獻をなしてゐるに敵國米英はこの恩も忘れ苛酷至らざるなき暴虐を同胞の上に加へ、平素正義人道を口にせる彼らのこの仕打ちに對しては憎んでも餘りあり、それだけにわれ〱は在敵國同胞に同情を寄せるのである、本委員會としてなすべきことは極めて多いが要は一億國民の同情をすべて本委員會に結集しこれを敵國にある同胞に送り届けることがわれ〱の使命なのである

と力强い議長就任挨拶を述べついで役職員の任命、外務省在敵國居留民關係事務主管鈴木九萬公使の挨拶などあつて午餐會に移り二時半閉會した

總督府辭令(廿四日附)

平北産業課長道理事官 豐川 永斌
任本府事務官(五等)殖産局勤務を命す
京畿地方課長同 大石新之助
任本府事務官(六等)總務局勤務を命す
防護課本府事務官 寺門 健
任道理事官(六等)全北道在勤を命す
林政課同 市木 政德
任道理事官(六等)京畿道在勤を命す
鑛山課同 金光 俊治
任道理事官(六等)咸鏡南道在勤を命す
京畿外事課長道事務官 良田 秀雄
任道理事官(六等)慶尚南道在勤を命す
商工課本府事務官 金丸 光富
任道理事官(七等)忠北道在勤を命す
鐵鋼課同 淺井 義治
任道警視(六等)平南道在勤を命す
理財課同 平田 治人
任道警視(六等)全北道在勤を命す
京畿警務課長道理事官 松本 悉道
任道警視(七等)咸南在勤を命す
咸南地方課長同 山本 光利
任道警視(七等)黃海道在勤を命す
警務局屬 小池義太郎
任道警視(七等)忠北道在勤を命す
同 細川 市衞
任道警視(七等)補光州警察署長
同 桐原 延夫
任道警視(七等)咸北道在勤を命す
咸南道警部 高山 清貝
任道警視(七等)黃海道在勤を命す
企畫室本府事務官 吉本 强
農林局勤務を命す
慶南學務課長道理事官 寺島喜四郞
京畿道在勤を命す
平南産業課長同 德山 嘉一
平北道在勤を命す
全北農政課長同 金子 時明
平南道在勤を命す
黃海農政課長道理事官 白川 濟
全北道在勤を命す
京城西大門警察署長 谷重 馨作
補京城東大門警察署長
京畿保安課長同 樋口 善久
補京城鍾路警察署長
咸南保安課長同 伊坂 和夫
京畿道在勤を命す
黃海保安課長同 孫田 宗明
咸南道在勤を命す
咸北外事課長同 福田 定雄
補京城東大門警察署長
全北警務課長同 寺坂 正男
補仁川警察署長
慶南警務課長同 一色總太郞
補大邱警察署長
咸南經濟警察課長同 山田 至郞
補釜山警察署長
平南同 中島 米太
補新義州警察署長
全北高等課長同 神島 新吉
全北道在勤を命す
黃海警務課長同 加藤 孫市
全南道在勤を命す
全南高等課長同 井家 伊作
慶北道在勤を命す
光州署長同 師富 勉
全羅南道在勤を命す
忠北警務課長同 牛島 純一
京畿道在勤を命す
江原高等課長同 中田 豐
全南道在勤を命す
慶北保安課長同 山本 靜資
江原道在勤を命す
咸南社會課長道理事官 竹久 勝藏
龍山署長本府道警視 川島卯之助
慶南商工課長同 鳥毛 麟
城東署長同 佐々木清一
仁川署長同 石渡信太郞
釜山署長同 畑田 研三
新義州署長同 岡 親松
大邱署長同 山田俊之助
慶北高等課長同 河村 正実
依願免本官(各通)

結核の治療に迷ふ方へ
贈呈
肺病、肋膜等結核の難病は些細な療養の問題が意外に全快を妨げ單一の藥劑では良結果は得られない。全快者座談會や研究會を開催し又唯一の綜合ホルモン劑グアナルチヨウシンを發明し新に完成せしめ常に良藥な努力をなし益々信念を高めつつある本部の資料を知り一日も早く全快の參考とせられよ。
闘病錄・座談會記錄・大快報・研究會記錄等數册總數目錄になる資料=無代進呈=『京城日報』にて見たと記し=大阪府阪急沿線曾根・興亞ホルモン療法研究所相談部へ申込まれよ。

たくはへた電力を大切に 生産力に振向けて 勝つために!
マツダランプ
東京芝浦電氣株式會社

新年號 日の出
十八年の世界戰局を語る 米英は?獨ソは?重慶は?そして地中海方面は?鋭敏にして確的筆者の豫測を見よ 武藤貞一
南方から見た日本 陸軍省報道部顧問 永田秀次郎
南太平洋海戰詳記 牧島海軍報道班員
『これからの暮し方』問答會
小說 つゞみ七草 堤千代
小說 初春万歲 長谷川幸延
小說 禊 綸神崎武雄
長篇 沙漠の白鳥 渡邊啓助
小說 南海の復讐 大平陽介
小說 日本の子供 攝津茂和
東京 大相撲春場所評判記 相馬基・眞杉靜枝 對談(双葉・照國・安藝・羽黒ら好か新鋭古豪の活躍如何?)
戰爭と金屬增産 厚生大臣表彰 增産戰士座談會
價五拾錢 東京牛込 新潮社

★博文館新刊★ 東京日本橋本町 振替東京二四〇
短篇小說集 幸運兒 荒木巍著 (B六判三〇八頁) 一・四〇 〒二〇
きびしい時勢に抗して雄々しく逞しく行動し、巧みに幸運を掴んで前進する新しき男性の型を示す『幸運兒』以下五篇。人間の生の問題に深い愛情と鋭い眼をそゝぎつゝ鮮やかに描破せる雄篇ぞろひ。
短篇小說集 紫陽花姫 深田久彌著 (B六判三〇四頁) 一・八〇 〒一二
『紫陽花姫』故國を再興する健氣な女性の波瀾多き物語。『吉・貧より立つて成功の緒を掴む迄の少年の話。『大陸の子供』大陸駐屯の皇兵と子供との親しみを描く。
博文館文化選書
佐佐木信綱著 近世和歌史 (新三六判二八六頁)
本書は從來殆ど顧みられなかつた和歌の歴史的研究に入らうとする人の爲に正確な基礎となり、また古人の詞藻に詠歌の栞を求めようとする人の爲に好資材である。
武田祐吉著 上代日本文學 (新三六判二七二頁)
古代日本精神を我々の精神とすべき時代に於いて上代日本文學を展望することの必要は言を俟たない。本書は『上代日本文學史』ではなくて、文學史としての關係の下に敍述されてゐる點便宜である。
各一・二〇 〒八
防空の知識と救護 醫學博士 田林綱太著
★防空と救護は家庭の實務!!★
本書は著者が十年に亘る眞摯な訓練及び演習の實際より得た體驗に基き、一般的防空の知識と空襲災害の狀況を充分に想像しての救護に關する知識を說いた救護書で、救護擔當者の參考資料として又警防團、隣組にも是非一本を備ふべき國民防空讀本である。
B六判二五六頁 價一・六〇 〒一二

重版書
二つの都 よき愛を歌ふには純潔と知性を要す 丹羽文雄著 價一・八〇 〒一五
女性の言葉 女の眞實一路を步いた著者の名隨筆 窪川稻子著 價一・五〇 〒一五
愛情の倫理 愛と共に始まり愛と共に終る人の生涯 岡田三郞著 價一・三〇 〒一五
闘ふ母 愛こそは闘ふ母の唯一の武器だ。 廣津和郞著 價一・〇〇 〒一五
未婚手帳 全く見事な眼醒めるやうな無愛 寒川光太郞著 價一・五〇 〒一五
流氷 すさまじき北海の夢と情熱の文學 寒川光太郞著 價一・六〇 〒一五
私の鞄 氏の鞄には香り高き綴發の花が一杯だ 石坂洋次郞著 價一・五〇 〒一五
成吉思汗 蒙古の原野に不滅の光芒を放つ生涯 大場彌平著 價一・六〇 〒一五
綜合 經濟計畫 企畫
勞務配置論 厚生省職業局總務課長 佐伯敏男著 B六上製・價三・〇〇 〒一五
本書は現下の勞務動員法とその配置との實際下に就て之を說く。時局下産業人必讀の書。
交通政策論 企畫院第五部長 柴田彌一郞著 B六上製・價二・三〇 〒一五
戰の勝敗は船舶運航の如何にある。本書は戰時下交通政策の全般に亘つて明快なる指示を與ふ。
次回配本 大東亞建設論 企畫院書記官 村山道雄著
最新刊
阿片戰爭 松崎啓次・小國英雄共著 B六判二七〇頁 價一・五〇 〒一五
東寶映畫化!堂々新春上映!!一讀、興味津々たる好個の讀物!
續・女性の言葉 窪川稻子著 B六判三二〇頁 價一・八〇 〒一五
決戰下の若き女性に明るい希望と生活の喜びとを與へる待望の書『女性の言葉』續篇
高山書院 東京市神田區小川町二ノ十 振替東京八三八九三

瞼のひと 室生犀星著 價一・八〇 〒一五
ひとの世のきびしさにあえぎながら純眞なるが故にいくたびか敗れつゝも文學を心の糧として美しく生きんとする乙女ごころをうたへる香り高き小說。
安南草話 玩進瀾著 深尾須磨子譯 價二・〇〇 〒一五
詩の國・安南の生める異色ある小說集。黑髮・ユエの一夜・春生と令孃・哀しい物語・官吏の道草・露らぬ子・小妹・海賊リア・青春の手等の傑作を收む。
平田篤胤 伊藤永之介著 價一・五〇 〒一五
馬鹿と笑はれた少年が發然江戶に來り火の番飯炊き等刻苦する日夜を勉學に骨身を碎き國學の泰斗となる、その憂國の熱淚と慈愛の一生を描いた人間篤胤傳。
熊澤蕃山 和田傳著 價一・六〇 〒一五
藤樹先生を慕ひ膝下に寢て勉學し實學と德を天下に敷れた蕃山、飢民を救ひ善政を施し信念の實踐に一身を捧げた情熱あふるゝ物語 (出版文化協會推薦)
回教民話集 スウインナトン著 吉原公平譯 價二・五〇 〒一五
回教徒生活の萬華鏡、南方樂土の秘寶を開き、その因襲奇習等を活寫す。目次の一部=王と拜盜・アルラーと貴族・蜜林の出來事・女と秘密・魔法使・巡禮。
東京市日本橋區通三ノ六 偕成社 振替東京一三二一二番

敗戰後の米海軍

"悲劇的な逸球"眞珠灣 將兵の戰死三千名

米誌の論評

【ブエノスアイレス廿四日發同盟】近着の米國週報誌タイムは眞珠灣の慘敗に關する米國海軍省の發表につき次の通り論評してゐる

米損害十七隻

日本軍の眞珠灣攻撃により主力艦アリゾナは攻撃の直後ノックスが承認した通り爆沈されてしまつた、オクラホマも恐らく引揚げ不可能であり、カリフオルニヤ、ウエストバージニヤならびにネバダもあるひは大破しあるひは擱坐した、テネシー、メリーランドならびに太平洋艦隊旗艦ペンシルバニヤは一時的ながら戰列に參加出來ない狀態に陷つた、主力艦の損害が一番大きかつたが巡洋艦もまた損害を免れず、ホノルル、ヘレナ、ローリーは損傷された、二隻の驅逐艦(一、一〇〇トン)新型水上機母艦カーチス(八六二五トン)も同樣の運命に陷つた、さらにノックスの報告によれば水雷敷設艦オグララ、驅逐艦ショー、カッシン、ダウンズならびに標的艦ユタも沈沒した、今度の發表で特に重大な項目は左の諸點である

航空機全滅

一、オアフ島における二百二台の海軍の航空機の中、八十機は撃破されその他七十機は行動不能に陷つた、陸軍機の一部は助かつたが日本軍の滑走路を滅茶苦茶にしたため飛びあがることが出來なかつた、陸軍機二百三十七台の中、九十七台は爆破されその他明確な數字はあげられてゐないが損害を受けた

『空母』を再認識

一、將兵の損害は從來發表された數字に比し少し增加したに過ぎないが、一番よく訓練されてゐる米國海軍ならびに海兵隊の將兵三千餘名が戰死乃至行方不明である、米國海軍の提督連中は眞珠灣における慘敗の久しい以前、空母ならびに巡洋艦の價値を知つてゐたと稱してゐるが要するに眞珠灣の慘敗に基づく必要から、從來艦隊で第二次的の地位にあつた空母の價値を引上げ、艦隊の主力であつた戰闘艦に代らせるに至つたのだ、米海軍の提督連は頭の中では『海戰の新形態』を知つてゐたかも知れないが、かれ等の心は依然として主力艦の優越に低迷してゐたのだ、眞珠灣における慘敗の結果にもかゝはらず、米國の提督連は依然空母を發するに至つてはゐないが、しかし四隻の軍備止むを得ず空母を締結するに至つた次第だ、日本軍のために撃破された米國機は主として旧式の双發B十八型爆撃機ならびに舊型のP四十S型乃至P三十六S型だ

怠慢悲慘事

罪惡によつて物事を償ることはなかなか易い方法だ、眞珠灣は全く『悲劇的な逸球』で二度と同樣の間違ひを繰返してはならない、あるロバーツ報告書によれば、ある中尉は百八十マイルの前方から敵機來との兵隊の警告を無視してゐる、また戰闘の眞最中に眞珠灣に着陸した空の要塞が爆彈を搭載してゐたなら恐らく日本航空部隊を一機殘らず擊墜出來たであらう

その後米海軍

今日眞珠灣は世界で一番よく防備された要塞となつた、さらにこの時らしいとは眞珠灣以來一ケ年間に米國の海上艦隊が強化されるに至つた事實だ、一九四一年に就役した主力艦ノースカロライナならびにワシントンの他にサウス・ダコタ、インディアナ、マサチユセツツならびにアラバマの新鋭主力艦が多分進水し、あるひは進水最大の主力艦といはれる四萬五千トン、速力三十ノットのアイオワは去る八月すでに進水し、姉妹艦ニュージャージーも今週進水した、これ等の新鋭主力艦が古い眞珠灣型の戰艦と異ることは、恰も空の要塞がD八型と異るが如しだ、次に海軍力復興の主要な兆候は空母の建造だ、今週進水したバンカーヒル並に快速空母ベロウッドなどに引續き、ぞく〳〵空母の建造が發表されてゐるが、これら空母が實戰に參加するのは來春頃となるのであらう

鮮米資金八千萬圓

預金部から融通決定

【東京電話】鮮米買上げに要する預金部資金の受入れについては過般來本府財務局と大藏省との間に交涉中であつたが、今回八千萬圓(利率年三分六厘、償還期限六ケ月)を鮮銀を通じて受入れることに決定した、右は昨年の三千萬圓にくらべ五千萬圓の增額となる、これは

一、十七年産米減收のため對內地移出の減少となり從つて內地資金の鮮內流入が減退したゝめこれが補充が必要となつたこと

一、十七年度移出米を至急大量に確保するためには例年なら買上げが翌年七、八月にまで及んだものを二月末ごろまでの短期間にその全部を買上げる必要がありそのために資本金の增加が必要となつたこと

などの理由によるものである、しかして右資金は鮮銀を經由して受入れられるため一應鮮銀の發行準備となるがこのために金融として動員され得る譯である、なほ右資金の鮮內金融機關融資は過去の實績に徵して鮮銀三千二百萬円、殖銀四千二百萬円、東拓六百萬圓に決定した

金融機關の營業 時間三十分延長

【東京電話】貯蓄增强に資するため全國金融統制會では銀行、信託など各種金融機關の窓口營業時間延長を行ふべく斡旋中であつたが新春一月一日を期し、全國一齊に現行營業時間を三十分延長し、土曜日以外の平日は午前九時より午後四時までと決定した

必勝體制の確立へ

建設的論議展開せん

決戰へ驀進の今議會の意義

【東京電話】第八十一回帝國議會は廿四日召集された、貴衆兩院ともに諸種の手續を終つてこゝに成立をみた、この日の議場の空氣からみると議員の間にかつてみない眞摯かつ敬虔な態度が強く漲つてゐることが窺はれる、この國を擧げての決戰體制下における一國民の希求への熱意を

今議會 に反映し、政府と與に一體、あらゆる戰力を強靭化せんとする旺盛な全議員の眞摯の間にも十分讀みとられる、從つて本會議、豫算總會または委員會における論議も政府を鞭撻する點において自然的なものとならう、この論議の自然は、政府支援とその政策實施の鞭撻に向けられるべきで、その點二十三日の代議士會における翼政會總裁の演説の點に添ふて展開さるであらう、他面議會の重點は今議會としての國內必勝態勢の確立にある、故に政府支持翼賛

協力の 原則は原則としても動くべくもないのであるから、この點からみても論議は徒らな『論議のための論議』に墮するとは絶對に考へられない、翼賛議會は白熱化しつゝも前議會と同樣極めて短期間に全議案を議了し、政府をして國民戰爭遂行に全力を擧げしむるの措置に出ずるものと觀測される、かくて第八十一議會はわが國議會史上空前の重大使命をもつべくこの召集日の厳粛荘重なる空氣を感じた第八十一議會の第一歩を

全體を 通じて一層緊張されるものと期待される、なほ年內は廿六日の開院式、廿七日施政方針の聲明發表、貴族院に對する政治演説、衆議院においては廿五年度豫算の全體の行事をもつて打ち切り休會に入るはずである

鏡泊水力發電所 全面的送電開始

【新京電話】第一次產業開發五ケ年計畫中における電源開發計畫の一環として建設工事が進められてゐた鏡泊水力發電所はこのほど竣工し廿二日を期し全面的送電を開始第一次電氣開發計畫中最初に完成を見た水力發電所として東滿經濟開發の原動力となつた

共和撚糸工場 永登浦に新設

半島における撚糸の自給自足をはかるため、南大門一丁目の江商株式會社では內地遊休設備を永登浦に移駐して、資本金四十五萬圓(全額拂込)の共和撚糸工場を新設することになり、かねて本府當局へ設立認可を申請中のところこのほど許可されたので直ちに工場建設に着手、明年六、七月ごろより操業を開始することになつた、同工場は敷地約二千坪、機械卅台六千錘の設備で完成の曉は半島纖維界に多大の貢獻をもたらすものと期待されてゐる

岡山縣產疊表公價

岡山縣産疊表の最高販賣價格が廿四日附で指定、即日實施された新價格次の通り ▲麻糸緣引通頁間特上(單位十枚)十八円九十錢、特十七円四十八錢、上十四円七十三錢、中十三円三錢、並十一円八十一錢 綿糸緣引通三六、特上十七円十一錢、特十五円八十六錢、上十三円六十三錢、中十二円三錢、並十円五十一錢、同五八、特上十六円七十五錢、特十五円五十二錢、上十三円廿七錢、中十一円七十四錢、並十円十五錢、麻糸緣引通京間、特上廿二円六十二錢、特廿一円廿三錢、上廿円十錢、中十九円八錢、並十八円十八錢、同卅六、特上廿一円卅四錢、特廿円九錢、上十八円九十六錢、中十七円九十七錢、並十七円一錢

朝木出張所長打合會議

朝木社では過般の木材統制林關聯絡打合會にひきつゞき廿四、五兩日、同社の鮮內出張所長、駐在員を招集、打合會を開催

半島農村の再編成

積極的意見を吐露

官民懇談會開かる

半島の農村機構に近代化の光明を導入することによつて戰時下半島が負荷する最大の課題たる農業生產力の增强目標を達成し且自らの內部組織機構を改革することによつて農村經濟を不動の基礎に導かんとする小農經營新確立の最も先進せる題目たる農村再編成につき懇篤な意見を聴かんとする官民懇談會はまづ中央懇談會を廿四日午後一時「第一會議室」に開催した、小磯總督は特に同懇談會に臨席しその熱意ある農村問題への熱烈なる態度を披瀝したことは、この懇談會の責務を重大ならしめた點において注目される、次いで湯田農林局長から大東亞共榮圈農業の一環たる半島農業の地位についてその使命と方向を明かにし、農村再編の意圖がいかにあるべきかの根本趣旨について說明あり、局長を座長に自由懇談の形式で懇談に入つた、出席者左の通り

民間側 ▲渡邊忍(總督府囑託)▲京山朝鮮農會理事▲松本金聯長▲石塚米倉社長▲湯村鮮糸統制社長▲山澤東拓理事▲渡邊林業開發社長▲孫滿拓理事▲富永朝鮮開拓社長▲鈴木城大教授▲伊藤助教授▲田中聯盟經濟部長

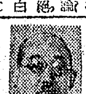
總督府側 湯田農林局長以下農林局各課長その他係官及び總務局山名書記官【寫眞＝懇談會場における小磯總督の訓示】

三重點に關し 民間側より意見投ず

總督府に開催された農村再編成官民中央懇談會は、廿四日午後一時から同五時廿分まで小磯總督の臨席裡に自由な意見が出席民間有力者から發ぜられた、即ち營農自作農の創定、經營規模の擴大合理化、小作人、地主の協力な綜合成働の三項目が中心話題となつて論ぜられたものとみられる、那つづき廿五日の休日は、朝鮮ホテルに各道有力者各一名の地方懇談會を開きこゝに總督府としては民間農業關係有力者の公式的準備的な意見の聽取は終ることになつた

先づ船舶の確保

櫟木朝郵社長歸任談



【釜山電話】船舶運營會その他の要務を帶びて東上中の櫟木朝郵社長は一ケ月ぶりに廿四日朝釜山上陸廿五日歸城の豫定であるが釜山鐵道ホテルで次の如く語つた

船舶運營會は內地が本年四月、朝鮮は十月から運營を開始し、營業も漸くその緒について、現在のところ、大船舶間に運營されてゐる、朝郵は同會の評議員になつてゐるので東上中は全部の會議に列席したが、全員の意見は戰時下最も重要な海上輸送問題にのみ集中された、先づ第一に計畫造船により、より多くの船舶を確保すること、第二に現有の船舶をもつて能率を增强するために短距離航送作業能率を增强させねばならぬことで、これは目下各地に荷役作業會社が生れつゝあるが、一日も早くこれが創設されることを望んでゐる、計畫造船は鋼船、木船を通じて增産を急ぐべきで、朝鮮の木造船建造は朝郵が受命者となり各造船業者に指導させて目下その建造に拍車をかけてゐるが、機械類は順調に入手出來るとしてもその他の資材は九州方面に依存してゐるので、これらの獲得に困難な事情を建て、進みつゝあるしまた乘組員も大量に必要であるからこれも養成すべく目下對策を立案中である、また從來船舶並に積荷の保險率が割高であつた船主および荷主の悩みとなつてゐた海上保險については政府がその保險料の大半を負擔する案を立案中で今議會に提出される手筈である【寫眞＝櫟木朝郵社長】

中小蠶種業者轉業

中央會より助成金交附

蠶絲統制の第一着手として總督府では先づ五千枚以下の中小蠶種業者の整理統合を行ふことになつたが、これら轉廢業者への助成については廿三日蠶種事業會議で關係の蠶種製造業組合中央會の評議員會において蠶絲統制會社より次の如く助成金を交附することに決定した

一、助成金は協定枚數五千枚未滿(過去三年間平均)の蠶種製造業者にして轉廢業するものに對し一枚當り金五十錢を交付する

二、助成金の交付基準枚數は過去三年間の平均整理枚數とする

三、助成金は眞に轉廢業し爾後三年間、蠶種製造業に無關係となるものに限り交付する

四、助成金の交付を受けんとするものは來年二月末日までに廢業屆を提出すること

五、助成金交付は本年三月以降轉廢業したものにも適用する

ことになつてゐるが十六年度實績による五千枚未滿の製造者は全鮮の廿八名を營業者に入れて合計百八名ありその整理枚數も廿九萬二千二百六十四枚となつてゐるので蠶糸統制會社支出の助成金は十四萬六千百三十二円を要するわけであるが實際にはこのうちにも合併その他により轉廢業者は減少するので助成金も低減するであらう

各社重役會と總會

鐘紡、鐘實 鐘紡では二十三日定時總會を開き、當期利益金處分案(配當二分減の一割六分)を附議可決、なほ鐘實でも同日定時總會を開き、當期利益金處分案(配當年七分据置)を附議可決

三菱信託 三菱信託では二十三日定時總會を開催當期利益金處分案(配當年七分据置)を附議可決、取締役一名補缺選擧の件は佐藤純一氏が當選就任した

大阪商船 大阪商船では二十三日重役會を開き當期利益金處分案(配當年八分据置)を查定一月二十九日の總會に附議する、

石川島造船 石川島造船では二十六日の定時總會に當期利益金處分案(配當年八分)を附議する

朝取總會 朝取では廿四日本社で定時總會を開き當期利益金處分案(配當年一割据置)を可決、理事青木柄學氏死亡につき弔慰金贈呈ならびに監事金季洙氏退任につき慰勞金贈呈の件は役員會一任となり理事一名互選の結果手賀常五郎氏が就任した

利益金處分(單位千円) 當期利益金二二六、前期繰越金二〇、合計二四七 法定積立金一二、別途積立金一二〇、役員賞與金一二、取引員獎勵金四、配當金(一割)七七、後期繰越金二〇

北支開發社債公募發表 【東京電話】興銀では廿三日政府保證北支開發會社社債(第卅回)五千萬円の募集條件を發表したが、うち市場公募は五百萬円で條件は四分二厘、九十九円五十錢、償還は十二年で拂込期日一月二十日

極洋捕鯨据置 【東京電話】極洋捕鯨では二十四日定時總會を開催、當期利益金處分案(配當年八分据置)を附議可決

富寧水力五分据置 監査役二名改選 富寧水力電氣では廿三日午前十一時から京城本社で第十一回定時株主總會を開き、當期利益金處分案(配當五分据置)の件を附議原案通り可決、ついで監査役二名任期滿了につき改選の件を附議、彥藏氏の後任に山口和三郎氏、種野文雄氏の後任に大羽鷹五郎氏をそれ〴〵選任した

明年度償還公社債約八億 【東京電話】興銀調査によれば昭和十八年中に償還期限の到來すべき公社債總額は百十一口八億九千四百餘萬円に上りそのうち銀行債は卅四口七億一千二百餘萬円で大部分を占めてゐる

スマトラ拓殖据置 【東京電話】スマトラ拓殖では二十四日定時總會を開催當期利益金處分案(配當年七分据置)を附議可決した

江界水力五分据置 江界水力では二十四日午前十時から東京丸の內本社において第十回定時株主總會を開催當期決算承認の件附議可決、取締役上內彥策氏辭任に伴ふ後任には山澤和三郎氏(東拓理事)が就任、前監査役種野文雄氏は監査役辭任後副社長に就任となつた

保健飲料 日東紅茶 發賣元 三井物產株式會社 製造元 三井農林株式會社

隨想錄

半島米年度の食糧事情は旱害と水害のため決して樂觀を許さない狀態にあり總督府でも百方手を盡して調整に努力して居ることは周知の通りであるが▲何としても生産の絶對量が動かせない上、今は大東亞戰下自由に外地から輸入する譯に行かず結局乏しい中からお互に切りあつて新穀の稔りを待つ以外には方法はない▲然るにいつも問題になるのは偏在と偏食で、ある處には豐富にありながら他の方面ではほんとに明日食ふものにも困るといふ事實で、これが人心を擾亂することになるのだ▲今日各地で供出を勸獎してゐるのは偏在を防止しようとする趣旨でもあるのだが、時によりこれが多少の行き過ぎを見ることともあらうが、そこはお互に根本精神を確り把握すれば自ら解決される▲江原、黃海、全北、平南各道における農民や職員の供出美談が新聞紙に發表されてゐるがそれを讀むと實に半島の農民魂といふ樣なものが遺憾なく現はれてゐる▲都會人や農民でない者には一粒の米を生產するにも如何に多くの苦心と勞力とが拂はれてゐるかを諒解し得ないかも知れない、今少し食糧に對する眞劍な考慮が望ましい▲水戶光圀が御膳の上に百姓の人形を飾り食事毎に先ず人形にお供へしてから箸をとつたといふことは現在農民にあらざる者の凡てが心掛けねばならぬと思ふ。

文化

朝鮮文壇 一年を顧る (2)

俞鎭午

然り、それは文人協會の結成に依つて、國語文學を中心とする文學運動そのものゝ中に既に久しく醸成されて來た一つの內在的必然性の展開である。半島人は日本國民であり、國語は日本語であるといふ政治的な理由を他にしても、半島に於ける國語の普及、半島人の國語表現力の向上、國文學の半島民衆への滲透、かういふいろ〳〵な理由によつて、早晩、半島に於ても、國語による文學運動が擡頭して來るであらうといふことは、既に夙くから察知し得られるところであつたのである。

然らば、それは何故に今日まで遲延せられ來たのであらうか。この問題に對する解答は、私としては既に他の機會に試みたことがあるので、茲には再び繰返さないことにするが、兎に角半島文壇としては、こゝに到り着くまでには、少からざる苦惱と決意を要したことは事實である。如何なる苦惱と決意を要したか。これも今その全貌を論じてゆく場所ではないが、後續述べるところによつて少くとも、そのある部分は自づと明かにせられるであらう。

半島における國語文學運動の擡頭が、直ちに諺文文學の消滅になるものでないことはいふまでもない。朝鮮の作家の悉くが國語の作家として出直すことは、事實上不可能だし、他面諺文によるのでなければ、適切に讀み得られない讀者層も尠大な數に上るからである。朝鮮の文學は、當分やはり國語と諺文の二本建で進むより外はないであらう。日本文學を一方に育みつゝ、國語文學運動の普及發展を圖るのが、朝鮮文學の進むべき當面の方向であるといへよう。

渡滿の五作家 廿六日に出發

滿洲國國務院總務廳弘報處からの招聘により、近く渡滿すべき朝鮮文人協會の五作家中、咸大勳氏は都合により參加出來なくなつたので鄭飛石氏が代つて一行に加はることになつた、なほ一行は廿九日出發の筈であつたが、先方からの希望もあり日程を繰上げて廿六日(土)午後三時五十分京城驛發、牡丹江行の列車で壯途に就くことに變更された

不連續線 清淨心

日本精神は、不潔を忌む精神である。神前に額づく時、格別汚れてゐなくても、口を漱ぎ手を洗ふのは、つまりその心に外ならぬ。西洋では、同じナイフやフォークを毎日使ふが、日本では、一度限りで捨てる杉箸を以て、客への至上の接待とする。見栄ではなく、清潔心である。して見れば、それで新春が迎へられぬといふ譯ではないにしても、垢を刈り髪を剃つて、新しい稚ひを整へるのも、また一つの日本的禮儀だといひ得んか。

新映畫評 京洛の舞 松竹作品

☆……松竹作品『京洛の舞』明治維新の礎石となつた志士達の活躍を史上に殘る姉小路卿暗殺事件にからませ極く興味本位に扱つてある。從來の歷史映畫の誇張と頽さを避け、志士達の人間的な生き方を自然に描いてゐる、例へば田舍出の青年(三井秀男)が次第に志士らしくなつて行く過程、田中(坂東好太郎)岡田(河村黎吉)等從來の歷史映畫には現はれなかつた人物を動かして當時の風雲と志士の氣魄をかなりよくだしてゐる

☆……監督(野村浩將)が時代劇に馴れぬため隨分戸惑つた箇所もあるが、反面には現代劇調の優れた演出手法が効果を生み、清新な感覺がある、これが眞の歷史映畫になつてゐないことは確かだが、月並な娯樂映畫の類型からすれば捨て難い品格を持つてゐる

"大いなる朝"

朝映の徴兵制映畫 朝鮮軍と綜督府との後援で朝映が半島徴兵制度を主題に企畫した本格的朝鮮映畫の脚本は既報の如く八田尚之氏に依賴し、かねて執筆完成を急いでゐたがこのほど脱稿、題名も『大いなる朝』と內定したが、その演出者としては東寶の豊田四郎氏に委囑することに成功した

文化だより

◇平山幸志氏(京師教諭)東京及び堺市の音感教育選擧並に『現代ピアノ演奏法』出版のため廿五日京城驛發東上

京日俳壇 高濱虛子選

群山 西村比沙詩
しきりなる落葉のなかの住ひかな

海州 島野汐陽
時雨るゝやチゲ從へてとつ〳〵と

京城 鈴木文津
父祖よりの念佛信念お講凪

同 永田一艇
落葉焚くこの頃つゞくよき日和

木浦 鈴木文雄
借家にはすぎたる畠大根蒔く

【冬季雜詠】一月廿日締切▲官製ハガキに一人一枚一句づつ記入め五枚以內のこと

大東亞戰一周年 國策株式投資の御相談は弊社へ 大原證券 京城府明治町二ノ三一 電話本局代表(2)5131番

うつつ熱ぜか 治療劑 清美散 本舖 大阪市天王寺區細工谷町 佐藤ライト商會

十二月一日抽籤 戰時債券當籤番號表 (其ノ四)

(番號表中太字ハ同別、括弧內ハ割增等級竝金額)

(大藏省・日本勸業銀行發表)

國債券 戰時報 4 割增金

								87423	88158	88883	89669	90472	91341	92107	92744	93615	94242	95210	96225	97412	98452	99012	99985
								87479	88228	88913	89726	90528	91353	92112	92791	93623	94385	95218	96250	97487	98523	99147	
								87516	88274	89086	89753	90543	91360	92124	92793	93643	94423	95286	96300	97499	98527	99165	
								87554	88368	89121	89789	90586	91366	92150	92816	93666	94434	95380	96320	97598	98562	99205	
								87611	88370	89133	89804	90597	91400	92191	92909	93713	94548	95430	96369	97635	98577	99209	
								87704	88375	89215	89822	90630	91467	92222	92950	93742	94643	95478	96373	97682	98591	99236	
								87749	88376	89307	89852	90632	91571	92226	92992	93820	94658	95537	96569	97685	98597	99288	
								87756	88380	89334	89936	90649	91573	92287	93050	93837	94702	95696	96595	97811	98629	99397	
								87776	88421	89343	89955	90660	91606	92319	93062	93896	94732	95705	96812	97874	98642	99488	
								87821	88472	89387	89981	90669	91638	92340	93085	93961	94754	95718	96877	98020	98657	99496	
								87842	88498	89420	90044	90699	91650	92351	93115	93970	94795	95734	96905	98061	98665	99530	
								87916	88538	89422	90056	90729	91651	92366	93121	93984	94844	95753	96951	98072	98709	99557	
(參等)	85043	85653	86191	86494	86663	86878	87073	87919	88629	89440	90068	90734	91704	92407	93137	93991	94912	95847	97134	98075	98778	99561	
五圓券五圓	85159	85710	86202	86537	86667	86953	87092	87923	88641	89442	90101	90757	91716	92416	93146	94013	95024	95884	97255	98148	98794	99575	
拾圓券拾圓	85253	85762	86260	86541	86688	86972	87096	87927	88674	89498	90133	90763	91743	92443	93195	94014	95034	95952	97295	98152	98809	99589	
	85287	85771	86270	86542	86706	86993	87113	87946	88680	89572	90160	90974	91804	92558	93281	94038	95123	96036	97312	98172	98815	99619	
	85443	85799	86294	86595	86711	87004	87151	87968	88717	89573	90162	91078	91854	92578	93323	94040	95147	96091	97316	98208	98915	99669	
	85547	85874	86321	86601	86730	87028	87210	87984	88776	89584	90240	91108	91892	92600	93383	94064	95153	96093	97329	98227	98939	99737	
	85558	85908	86335	86626	86747	87037	87293	88043	88778	89586	90322	91160	91909	92612	93390	94084	95154	96096	97358	98276	98948	99771	
84991	85609	85973	86357	86633	86768	87044	87317	88048	88779	89592	90377	91323	91924	92691	93487	94102	95165	96100	97374	98302	98991	99909	
85006	85623	86097	86447	86648	86804	87061	87349	88072	88781	89606	90414	91324	91968	92724	93501	94138	95199	96160	97376	98398	99010	99926	
85026	85641	86136	86481	86655	86858	87065	87350	88133	88824	89625	90450	91336	91994	92739	93599	94141	95202	96168	97394				

報國債券 9

報國債券	20353	67248	516	1996	3776	4995	7419	9124	10566	12804	14850	16062
	22154	68969	525	2063	3788	5038	7453	9179	10672	12821	14986	16099
	22456	70909	574	2158	3799	5196	7608	9194	11060	12834	15084	16148
	23811	70998	602	2302	3843	5295	7717	9295	11190	12866	15138	16206
	26705	73738	623	2364	3870	5315	7791	9442	11358	12974	15140	16235
9	28160	75414	626	2535	3933	5372	7815	9451	11449	12975	15183	16238
	29551	78543	885	2712	3994	5374	7830	9504	11458	13117	15209	16258
(參萬圓)	35678	82001	905	2720	4023	5583	7965	9654	11497	13119	15264	16272
88261	38458	86283	946	2801	4116	5658	7973	9694	11512	13448	15355	16288
(五拾圓)	40728	87045	984	2836	4264	5719	8065	9866	11535	13694	15367	16509
1911	43176	87359	1205	2898	4423	6027	8068	9881	11625	13846	15461	16531
2029	45178	92457	1273	3006	4455	6128	8241	9882	11753	14081	15483	16537
2669	46998	94436	1361	3057	4472	6189	8290	9949	11757	14195	15511	16798
2692	49664	95333	1389	3178	4479	6314	8782	9979	12055	14344	15587	16817
5266	52407	95440	1479	3187	4502	6452	8817	9982	12181	14349	15674	16913
5279	53532	98171	1545	3271	4636	6469	8831	10137	12192	14360	15766	17014
7850	56970	(拾圓)	1650	3454	4678	6701	8837	10258	12223	14427	15790	17095
11942	57635	14	1795	3486	4695	6824	8892	10277	12315	14490	15803	17155
13761	61416	49	1805	3528	4784	6872	8944	10293	12372	14604	15892	17468
15516	62933	124	1872	3589	4874	7141	9039	10304	12473	14815	15933	17530
18796	63464	480	1890	3620	4895	7214	9046	10427	12651	14838	15958	17654
19578	65924	497	1990	3729	4948	7345	9060	10525	12720	14841	15964	

(其ノ五へ續ク)

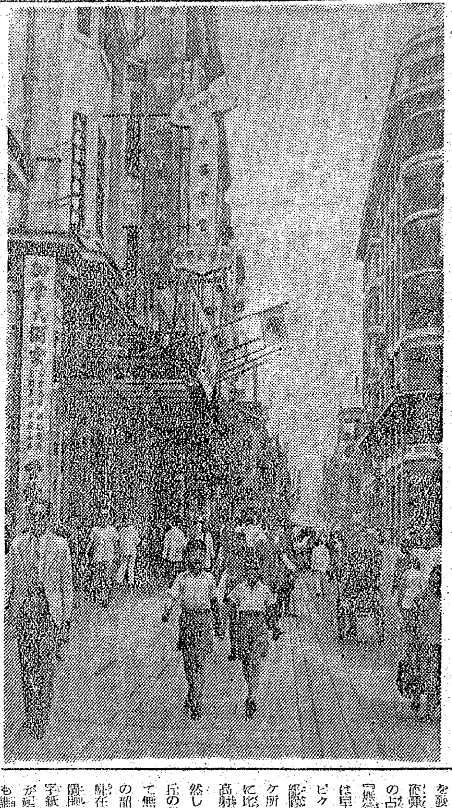
しっぷは…三十分 デルモライツ 感冒 咽喉カタル 濕布は三十分でよい 作用は長時間つゞき 体內の免疫体を昂め 熱を下げ充血を去り 速やかに痛みをとる 理想的濕布療法です 粉末 100瓦 一圓 250瓦 二圓 500瓦 三圓 株式會社 藤澤友吉商店 大阪・東京・京城・奉天

感冒 化膿菌・淋菌のみならず肺炎菌・インフルエンザ菌をも撲滅するテラポールの生體內殺菌作用は既に昨冬、感冒・肺炎・氣管支加答兒・扁桃腺炎・中耳炎等に廣く實驗せられて顯著なる治癒效率を示したり。 錠 テラポール 東京・大阪 第一製藥株式會社

新年號 キング 南太平洋海戰從軍記 益子挺身隊 海軍報道班員 牧島貞一 壯絕極まる大海戰に只一人從軍した貴重なる體驗記。 キング特派員 宮本旅人 支那兵に扮して一擧敵の本據を潰滅、感状部隊奮戰記 長期戰の實相を語る…桑木中將 世界の戰局と大東亞戰爭…秋山中佐 皆藤幸藏 ▲是からの就職と徵用の話…川瀬眞 ▲玄米食の話…川島博士 ▲燦たり野の旗印…丸山義二 ▲買ひ拔け國債…氏家武 ▲新婚はかうして育てられる ▲科學は資源を生む…加藤博士 新連載現代小說 御盾 山岡莊八 無敵海軍に取材した國民必讀の名小說。 米英侵略史物語 浮ぶ地獄 木村莊十 人類の敵米英の悪辣を暴く熱血悲憤の小說 ▲現代小說 血脈の誓…牧野吉晴 ▲時代小說 殉死…山本周五郎 ▲產業小說 飯金の虫…市橋一宏 ▲現代小說 漁魂…梶野悳三 この新年號は各種掲載 五十錢・大日本雄辯會講談社

香港崩るゝの日
空し"最後の晩餐"
東亞史に輝く廿五日

【香港廿四日同盟】昭和十六年十二月廿五日それはイギリス人が香港に迎へる第百一回目のクリスマスだつた、南支の暖い陽光は椰子と榕にうらゝかな緑を投げてゐた、しかしながら總督マーク・ヤング以下の英人達にはそんな行事をも自然の美をも惜しみる餘裕は全然なかつた、日本軍が島の東北端に上陸してすでに一週間、島の脊梁をなす高地の線はジャーディン、畢拉山、黄泥涌の五叉路、ニコルソン山、金馬倫山と奪取され日本軍は島の西北部の香港市街と南部の赤柱半島に押しつめられ遂に孤立してしまつた、海岸沿ひに既に進出する日本軍はすでに競馬場を占領して市街の心臓部に突入の態勢を示してゐた【寫眞=新生の息吹き漲る香港市街】



Xマスに巨彈の贈物

いつの年もクリスマス・イブの舞踏會に夜を徹するホンコン・ホテルやグロースター・ホテルの廣間は避難の客で埋まつてゐた、一般市民は防空壕の中に眠さめ勝ちな夜を明すことすでに十八日であつた、島の西端の摩星嶺の砲台は爆撃によつて破壊され、火を發して重油は山腹に流れてゐる、鋼鐵製の重油タンクも日本軍の砲彈に焼けてまだ焔をあげてゐる、對岸の九龍は既に完全に日本軍の占領地となつてしまつた、天文台の丘からは風船が揚げられてゐる、この日は早朝から激しい砲撃戰が双方の間に交された、我方の「無益な抵抗を止めよ」といふ吹き流しが空にかゝつてゐる、この日はビクトリア・ピークを中心とする敵の砲兵陣地に集中された、荒鷲部隊も繰返し上空に現はれて軍事施設を粉砕した、丘の中腹には數ケ所に火災を發して煙は街を蔽つた、英國側の對空砲火は朝に比べて著るしく衰へてはゐるが、空襲のある毎に空は點々とした高射砲彈炸裂の白煙で埋められるのだつた

然し英國側の砲陣は著るしく亂調子となつた、今までは九龍背後の丘の我が砲兵陣地に殆ど集中されてゐたものが、市街の中に落下して無辜の民を傷つけたのであつた、イギリス軍の儚い頼みの綱は支那軍が南下して日本軍の背後を衝いてくれることだつた『余漢謀軍二個師が英支國境を越えたとの確報を得た』と公表した、廿五日の英字紙、華字紙は『愈よ西南國境で日本軍と救援支那軍との衝突が起つた』と報した、然しながらこんな虚報に救はれる英人も誰もゐなかつた

夢の救援軍に強がり

廿五日午後一時三十分の英軍發表は次のやうに戰況を述べた 敵は又もや新手の攻撃を加へて來た、我軍は勇敢に陣地を守つてゐる、灣仔では市街戰が行はれた、急降下爆撃と砲撃も新しく開始された、然しながら香港の人民は斷乎たる決意をもつて行動してゐる、又敵は砲撃のみをもつてしては勝利は得られぬとは確實である

皇軍は廿五日すでに總攻撃の態勢を完整してゐた、然るに『砲撃のみを以つて勝利は得られぬ』と豪語した英軍はその午後早くも白旗をかゝげて來たのである、午後になると英軍の砲撃は殆ど沈黙した、灣仔の英軍は櫛の歯の缺けるやうに皇軍に投降しつゝある、北角の我攻城前線司令部の庭には徒歩でもゝもに投降した英軍の大隊長の姿も見られた、午後四時白旗を掲げた自動車が灣仔の我前線に現はれた、それは英國側の全面的降伏の軍使の一行だつた、彼等はフランス病院に連行され降伏を申出たが、我方は降伏ならば總督及び司令官自ら出頭すべしとこれを一蹴した

かくて香港潰えたり

午後六時過ぎに近く總督ヤングと英軍司令官モールビーはフランス病院に悄然たる姿を現した、彼等は直ちに海を渡つて半島飯店（ペニンスラホテル）へ連れられて行つた、午後七時このホテルの一室に英國百年の侵略史に終止符を打つ會議が開かれた 會議は十五分間で終つた、英國側は無條件降伏を約し、全軍は抵抗を止め、武器を放棄すべきことを誓つた、會議室の扉は開かれ、暗い燭燈の火を前に正面に酒井最高指揮官、その左右に幕僚が居流れてゐた、これに對坐して疲れ果てた長身を椅子に寄せて黙然と坐つてゐるのは香港防衛軍司令官モールビーであつた、總督ヤングは著るしく興奮を示して屢々席を立上つて室内を歩み始めた、これが歴史的會議の最後の瞬間の光景であつた、直ちに陣地撤退及び武器の接收が開始された、また總督官邸と赤柱監獄に監禁されてゐた帝國領事館員と在留邦人に對しても香港攻略の報は傳へられた

開戰以來十八日の幽囚生活を體驗した同胞たちは何れも聲の限り萬歳を叫んだ、防空壕の避難民たちも戰ひの終つたことを知つた、夜中行李を負つて家へ歸る人民の姿は街に溢れてゐた、かくて香港は陷落した、それは開戰以來十八日、我軍が香港島に上陸してから一週間であつた 明くれば廿六日晴れ渡つた冬空に陽が上つた、朝日を受けて海上に浮んだ香港の島影は太古からの變らぬ美しい姿だつた、海風をうけてはためく日章旗は街をも港をも充してゐた

香港陷ちてけふ一周年

東亞侵略百年の牙城を挫いて潰え去つた香港陷落の一周年はめぐり來た、思へば老英が自然の要塞をたのみ"日本軍に三ケ月の死守"を豪語した同要塞も昨年十二月廿五日、あへなくも敵將ヤングは白旗を掲げてわが軍門に降り英國が一世紀を誇つた鐵の牙城も一朝の夢と去つた、しかして今皇國日本の逞しき大東亞の一礎石として新生した香港の姿があるのみだ、一年前のこの感激をこめて京城三井物産支店長代理町田銀三郎氏は、過ぐる昭和十年から十二年四月まで香港に滯在、戰前に輝されつゝあつた敵國香港の懐き姿を偲び浮べつゝ感慨を物語る【寫眞=語る町田氏】

酒と女の英兵
上海できく感激 町田氏の思出

香港に在勤中は腹の立つことばかりでした、すべてが英國式であることはあきらめたとして、第一女の前で帽子をとらなければならないのが氣に入らなかつた、そこで私は一切外出には無帽主義で押し通して來たが、結局この方が氣樂だつたがらである、英人とは飲ることを許さず、あくまでも他人種を眼下に見降すといつた不遜ぶりであつた

支那事變直前だけに彼等のビクトリヤピークのスタンレー砲台はじめ各砲台を強化して相當な備へをしてゐたが、陸海軍人には眞劍味はなく、毎日酒と女と賭博で一日を送つてゐた、これで日本に勝てるだらうか、……こんな言葉は英國に備兵さへも聞かれた

ても僅かなもので、九龍と香港島とで全人口の九十八%が廣東人、そのほかが國籍を知らぬ外國人、ほかに日本人が約二千、このほかは英人で百萬人とは呼稱してゐたが、實際それだけはゐなかつた、休日ともなればグロスターや九龍の半島ホテルは全くキャバレー化して無自覺な英人男女の踊狂に委せてゐた、一方、彼等は英人以外の人種を山の中腹以上に居住させなかつた

私はこの快報を東京で聽取つたが大東亞戰爭が始まるや、ひとたまりもなく香港はやつつけられた、印度兵すら侮らしてゐたが、昨年十二月社用で上海に赴いたとき、上海でその祝賀式に參列してさらに感銘を深くした、英の敗退は香港に住んでゐた者の諸國人が常に抱いてゐた宿願であつたのだ

朝鮮みやげ 直營 パン菓子 本町 大和軒

玄海渡る海洋筏
來春四月ごろ壯擧

玄海の荒波を曳く海洋筏の出現……戰爭のために繰展べつゝある足りない船腹に木材輸送はどんな形で行かうと、朝鮮木材株式會社では内地林の後へに、さきに北鮮部で成功をおさめた海洋筏を行ふべく目下準備を進めてゐるが總督府當局でも多大の期待をかけて援護、朝鮮木材では第一回の試驗的實施が成功すれば會社直營の現代船の建造を、とまで意氣込んでゐる

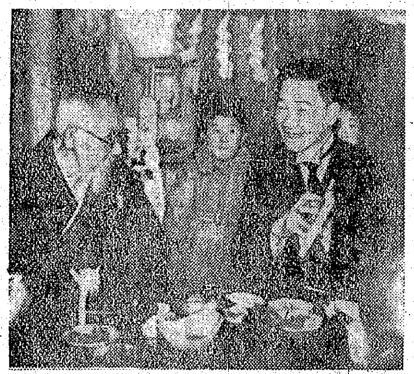
第一回の壯擧は南風吹く來春四月ごろを期して決行の豫定であるが、計畫によれば一回約五千石の木材を筏に組み警備船を使用して曳航するもので、玄海の渡りのみで約一週間を要するものである、これにつき木谷朝本事務は語る

何よりも諸の必要な時期ですから思ひつゝやつてみる積りです、一回や二回失敗するかも知れません、然し國策會社がそれ位のことを怖れては何もなりません、幸ひ本府でも力を入れてゐて下さるので黑潮の上つて來る春を期して第一回を決行します

お孫さんまで歡迎
汪院長、頭山翁邸へ

【東京電話】入京六日を迎へた中華民國國民政府行政院長汪精衛氏は外交部長褚民誼、南京大使館參事、一等書記官を帶同、大東亞省差廻しの自動車で廿四日午後二時淀橋區西大久保の私邸に……郎男、同三時澁谷區常盤松町に頭山滿翁を訪問、舊交を温め同四時辭去した

頭山翁宅にて 汪院長を迎へた翁邸では令息たる大東亞聯盟顧問に歸觀した大人秀三氏夫人、三男泰三氏をはじめ最年少者のお孫さん達に至る二十八名ばかりが中央大型の圓卓を圍んで一家擧げての歡迎振りである、その到着を知るや玄關に迎へ出た翁は八疊の日本間に招じ入れ、アルバムに寫眞を偲び懐舊談に花が咲き、これには小さな歡迎者も加はつて汪院長らは終始喜び相に微笑を浮べてその歡待を謝しつゝ



【寫眞＝頭山翁邸の汪院長、頭山翁と歡談】

早起き、親切、物は大事に
戰捷正月の銃後實踐事項決る

大東亞戰下、希望に滿ちた昭和十八年は後七日にして明けるのだ、更に勝ち拔かう、明年こそは眞に敵を完膚なきまでに叩き潰さう、總力聯盟では、この偉大なる昭和十八年へ發足する總力聯盟員月に二千四百萬總員がそれにかかりつゝ實踐すべき申合せ事項を『早起、潔齋、總力戰』『物を大切にし、活かして使ひませう』『お互に笑顔で親切を盡しませう』の三項目を掲げて廿三日これを發表した、一年の計は元旦にありのわが國習ながらの睦行體として、この一月の申合せ事項を徹底的に實踐して半島は大東亞戰爭二年の總力戰に勇み立つのである

一、早起・潔齋・總力戰
大東亞戰爭第二の新春を迎へました、每朝每朝先づ早起、身邊を潔めて總力戰に勇み立ちませう

二、物を大切にし、活かして使ひませう
一粒の米、一杯の水にも尊い生命があります、決して粗末にしてはなりません、殊に今は戰時です、あらゆる物を大切にしその生命を盡す迄十分に活かして使ふやうに心掛けませう

三、お互に笑顔で親切を盡しませう
親切は銃後の要塞です、此の要塞がくづれては立派な勝利は斷じて得られません、官と民を問はず各職域の人が假令どんな苦しい事があらうともいつも笑顔でがつちり組んで、互に助け合ひ赤心を披瀝し合つて、明るい氣持でこの大事を腹をしつかり固めようではありませんか

總力運動を推進する人々 【一】
總務部長 簡牛凡夫氏（總聯五部長の横顔）
精神力と實踐力 兵營生活こそ學べ 滿身正義感の眞骨頂

――一番初めに手がけたいと思つてゐる仕事は？『全然見當がつきませんね』

――大體どういふ方向にもつて行くつもりですか？

『第一線の事情も分りませんのでこれから勉強しなければならないので……』

――然しあれがしたいとか、これは是非實行したいとかいふやうなものがおありでせう

『いや、まだ何にも考へてゐません、總督や總監閣下の御訓示を……』

簡牛凡夫總力聯盟總務部長――のれんに腕おし、鰻の尻尾を摑まへやうとする時の不快さと焦燥感とを遂に記者が起つてもケロリとしてゐる、ものに拘泥らない大つ腹――とも見えるが、簡牛部長の場合は眼の前の秘密さが多分に加味されてゐるとみるべきだらう いへるかもしれない

宗運六段といふ腕を彼は肯定も否定もせず只ニヤ〳〵笑ひで濟ます

熱中したのは事實らしい、熱中したのも事實なら又あつさり精力を押入れの隅に突込んでその後顧みないのも事實らしい、熱し易く冷め易い、思ひ立つたら拔武者修に突進する頗る早くて正義派で――或る人は簡牛さんを生粹の薩摩ッ子だと評した、彼の眞骨中の美徳は、恐ろしく實行性に富み…みえる彼は實に樂天家らしくしてゐる、道義なくして總力戰なきか

ホレてゐるといふ……行政か專務かは知らず約二年なかい猛烈な……代を經いで若くして村長になつたら一六年、機關車の如き……

富んでゐることだ、そして勝負が早い、井上準之助の遺跡の……までの大藏大臣秘書官を動めあた簡牛氏である、知り盡してゐるこ
とでも空とぼけてみたり、感激家で正義感の強かつたりした性格が……、後をついて來るさうで彼はまた理論闘家でもある、名實共に自
……

政談議論の場合など、彼の政論は是非は別にして彼一流の自信でもしようとなど彼の意見に反對でもしようなら一大事、機關車の如き猛進を……

……『僕は道義朝鮮確立の爲に總務部長の職を賭して頑ばる』と張切してゐる

マニラ紀行 南の眞珠 木村毅 二・八〇 〒一五
木村毅 農人乃木 一・八〇 〒一五
明朗短篇 中學生 一・八〇 〒一五
芦屋光治良 春の記録 一・八〇 〒一五
長篇 世紀の窓 飯島正 二・〇〇 〒一五
大阪天王寺 全國書房

中野實氏の新作 中野氏の筆陣の力作で衛生後始めてのユーモア小説『もんぺさん』は婦人倶樂部新年號から連載、愉快な讀物である。

多數の貨車を簡單に連結切斷
街の發明家に殊勳

街の發明家として知られた鄭城氏

國防協會京城本部の京城長谷川町一一二鄭城明圭氏はこのほど『列車自動聯結裝置』を發明、大東亞共榮圏確立に重大役割をもつ交通機關の發明界に一大ヒットを飛ばした

發明名稱"エアーブレーキ"用の"列車自動聯結裝置"は空氣を利用して機關車の中から任意に貨車を連結、切斷出來る純日鮮式新裝置で從來の如く職か二、三台の貨車の連結切斷にも多數の人手を要した非能率性を除去、夜間や風雨雪等の際にも多數の貨車を一時に迅速正確に連結、切斷出來る理想的新裝置である、新發明の喜びを鄭城氏は廿四日龍山驛國防協會朝鮮本部で次の如く語つた

毎朝勤務の途上西四軒町の陸橋で貨車の連結、切斷に多數の驛員が大童になつてゐるのを見て、なんとか無駄な汗を省く法もがなと考へ出したのがこの發明の動機です、それから二年、改良に改良を重ねやつと今日完成したもので最初狙つたその作用の確實性、迅速性においては充分成功したつもりです【寫眞=殊勳の鄭城氏】

看護婦等の料金決る

京畿道では廿六日附をもつて看護婦の看護料および附添婦の附添料金の最高額を次ぎのやうに決定即日實施した

▲看護婦の看護料 第一種（普通病）三円四十錢、第二種（腸チフス、パラチフス、猩紅熱、ヂフテリヤ、丹毒、流感、肺炎、流行性腦脊髓膜炎）三円九十錢第三種（赤痢、發疹チフス、痘瘡、肺結核、肺壊疽）四円卅錢第四種（ペスト、コレラ）四円七十錢

▲附添婦の附添料 第一種二円六十錢、第二種二円八十錢、第三種二円九十錢

なほ同料金の適用は看護婦會の會員で同會の斡旋する看護婦、附添婦に限り非會員は規定料金の六割以下、必要者側の食事代負擔は認められず給食した場合は一日一圓を減じられそのほか雜費、往復費用は、看護婦の場合は需要者の負擔、附添婦は往復費用のみ、居住地以外の派出は規定料から食事代一円を減額したものの二割以内を手當として支給、一人で二名の患者を受持つたときは同様一円を減じた料金から患者一名につき三割以上、三人の場合は五割以上を減じて從來の二途取入に規正を加へる

話題特急

☆…寂かる可きクリスマスが今年も濠洲に訪れてきたけれども、西南太平洋方面における反樞軸聯合國側の修めな戰況の爲に濠洲國民は全く生きた心地もない有樣である

☆…シドニーからの情報によると濠洲政府當局では反樞軸側のかうした修めな戰局に鑑みさきに發令を出してクリスマスのお祭氣分を一切嚴禁してしまつたので、市民は今年になく憂鬱なクリスマスを迎へるわけである

☆…勝ち各デパート始め商店は市民の購買慾を喚る樣なクリスマスの飾物その他贈答品の廣告販賣を控へねばならぬ事となり菓子屋はクリスマスケイキを作る事さへ禁ぜられてしまつた【東京電話】

勝ち拔く力 書き拔く威力 抹桑萬年筆 KB

內科 小兒科 横山醫院 南大門通 黄金町六丁目 醫學博士 横山久衛 電話東局二二二六 入院應需

頭をよくせよ 昭和學會

精力減退 早老の若返りに バイタルゲン 試藥と無代進呈 京都市西ノ京中合町東 天光堂

東京齒科醫專 校長 血脇守之助 所在 神田區三崎町 入學試驗 第一回三月一日二日 第二回三月二十五日二十六日 本校要覽 郵券四錢

慢性胃腸病に アルス胃腸藥

日本犬 軍用犬 他 犬專門の店 日本畜犬 中尾本家

月やくと、こうりお困りの方や御心配の人

健康と美の肌を護る！ クラブ美身クリーム 大阪・東京 株式會社 中山太陽堂

武田產婦人科病院 武田產婆學講習所 武田正房

病毒で困る人へ 私の治療藥を教へます

早稲田大學 第一高等學院 第二高等學院 專門部 高等師範部 專門學校

求鑛山遊休機械 瓦斯エンヂン、蒸汽エンヂン ポンプ、捲揚機、空氣壓縮機 發電機、電動機、其ノ他 朝鮮起業株式會社機械部

お知らせ 目下輸送陣の爲め運送に就て御不便御不審の點が多々ある事と存じます。今般弊店は各位の御便宜を計り店内に皆樣の『案内係』を設け廿五日から正確迅速に御期待に副ふ事となりました。一、運送に就て何に聞けば良いか、一、其の他御不審の點のお尋ねを要領を得ない場合等その他運送に就て御來店の際、又は御電話の際此の『案内係』を御利用下さい。必ず皆樣の良き相談相手たる事を確信致して御待ち申上げて居ります。 昭和十七年十二月 朝鮮運送株式會社 京城支店 電話本局(2)五二二一番 直通電話本局(2)四〇三〇番

扁桃腺炎に アルバミール錠 山之内製藥株式會社

工員緊急募集 日本製鐵株式會社清津製鐵所 淸津職業紹介所

內科 胃腸病 入院隨意 菅病院 京城府元町二丁目 電話龍山二六番

旗 青年團旗、國旗、校旗 優勝旗、其他旗一式 青年隊腕章、帽章、襟章 朝鮮美術品製作所旗部

大學目藥 シマズにヨクキク

赤誠溢れる診療所
篤志家陸軍に献納

龍山陸軍偕行社ではこれまで部外居住の軍人軍屬とその家族の診療施設として診療所を經營してゐたが、設備に不備な點が多かつたところ、偶々京城竹添町二ノ一九〇金擧浩氏は大戰下これ等の人達に後顧の憂ひあつてはならぬと、經費十萬圓を投じて診療所新館一棟を建設、寄附、銃後奉公を誠意したが、廿四日午後四時から朝鮮軍、京城師團司令部長初め關係者多數參列して盛大なる上棟式を擧行した【寫眞＝同上棟式】

空襲は覺悟の前
斷乎"防空"に勝拔け

これまでに發せられた警戒警報歷勢を顧みて遺憾の點はありませんでしたが、輝かしい大戰果をあげた大東亞戰爭もいよいよ第二年目を迎へた、戰ひはまさにこれからだ、防空もいよいよこれからが肝要であつて、平時の油斷も許されない、大東亞戰爭完遂のために銃後は物心兩面ともにまつたき防衞態勢をいつも整へてゐることが最も大切だ、これに鑑み京畿道聯盟では"これで行きませう"と、防空についての心構へとして次の虎の卷を三百萬愛國班員に公開するとともに、"空襲必至"であることを豫じめ覺悟して萬一空襲を受けることがあつても、落ちついて不撓不拔の防空精神で敵機の攻擊と戰ひ勝拔かうと、決戰下一層の奮起を強調した

拔かるな! "警報十訓"

▲防空警報は傳達系統の如何を問はず早く聞いた警報に應じて準備を整へねばならぬが狼狽して誤り聞いたり誤り傳へたりしてはならぬ、警報受領旗は警報の傳達を受けこれに應ずる準備が完了したことを標示するものであるから警報に應じ夜晝の別なく揭出せねばならぬ

▲『訓練』の語を用ひない時は必ず眞の警報であつて、徒らに想像で勝手な解釋をしてはならない

▲夜間警報が發せられた場合寢てゐるからといふ遠慮で傳達を省略してはならぬ

▲防火用水は警戒警報で滿水せねばならぬが、特に嚴寒季は用水の結氷防止に留意せねばならぬ

▲警戒警報を受けたら愛國班の防護要員は勿論、官吏も會社員も工場員も皆んなが活動に便利な服裝を整へいざといふ時充分な活動の出來る準備をすることが肝要である

▲警報發令間に無用の外出や買物漁り等に出かけて大事な家庭防護を打ち忘れてゐる者はないか、愛國班員相互で戒め合つて班の防護を強化することが必要である

▲燈火管制の設備は充分出來てゐるだらうか、警報を受けて單に燈火を消すだけで設備をしない者はないか、準備の不足から管制を怠り處罰せられる樣なことがあつてはならぬ、違反者は防空法に依り一年以下の懲役又は千圓以下の罰金に處せられる

▲警戒警報が出たら何時空襲警報が發せられ又は出しぬけに空襲を受けぬとも限らぬから不覺をとらぬ心構へが必要である

▲空襲を受けた時慌てたり恐れたりして防火を怠り火災を出し防火の義務を果さなかつた者は防空法に依り五百圓以下の罰金に處せられる、吾々國民の一人々々が防空戰士である今日愛國班員の中に防火に付て平素何の設備も準備もせず甚しいのは積極的に訓練にも參加しない者が今なほある模樣であるが非國民といふても過言ではない、何んの設備も準備もしないために空襲に因り火災を起したら刑法の過失々火罪に問はれることがある

▲愛國班員全部が必勝の信念をもつてこの大東亞戰爭を勝ち拔くためには、不斷の準備と訓練が必要であることを忘れてはならぬ

廿七日の初車から 元通りに運轉
孝子町線 安國町線

交通の緩和を期すると、もに交通戰時下の府民の足を助けようとする南大門前の工事が去る二月着手されると同時に中斷されてた孝子町線、安國町線兩系統が來る廿七日の初車から從來の通り復舊運轉を開始することになつた

孝子町線は西大門、元町行の二系統を布き、朝夕の雜沓時間には時に新龍山まで延長、安國町線系統は以前と同樣、光化門で折返すことになり、朝夕の雜沓時間だけを西大門まで延長することになり、交通の緩和を圖ることになつた

料金は三分一 永登浦隣保館 理髮部店開き

京城府出張所三階に間借りをしてゐた永登浦隣保館が同所理髮事務所を移轉したが同時に隣て計畫中の附屬理髮所も店開きした、同理髮所は熟練理髮師二人を採用してゐるが料金は附近の一般料金の三分の一に當る十三歲以上は二十錢十三歲以下は十錢といふ低廉料金である

貧民へ溫い情 同情金寄附

廿四日京城府社會課長を通じ歲末同情金として東城水曜俱樂部から八百五十円の大口寄附があつたほか府內本町四丁目岩田鶴太郎氏(八)からも京城社會事業協會基金として金五百円の寄附あり歲末を飾る美擧として關係者を感激せしめた

三百圓獻金

京城南大門通キイ商店々員一同は廿四日本社を訪れ年末賞與の一部を割いた金三百円を陸海軍へ各百五十円宛獻金手續きをとつた

榮轉の人 勇退の人

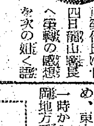
行政簡素化に伴ふ本府事務官級の退官、移動は廿四日附辭令で發表されたが、喜びと共に榮轉組の決意は一段と強し

職域に邁進 桶口西大門署長

京畿道保安課長から西大門署長の金的を射止めた桶口慶久氏の榮轉の辭

長期戰下たまたまこの椅子を與へられて責任の重大さを感じます、淺學非才、この重責を果し得るかを危んだのですが幸ひに官民各位の御支援を仰ぎ、たふれて後已むの決意をもつておよばずながら一意職域に挺身する覺悟です

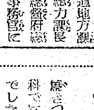
熱と誠でやる 谷重龍山署長



西大門署長谷重榮作氏は廿四日龍山署長へ榮轉の感想を次の如く語つた

何處へ行つても官民一體となり管內の諸機關と協力、熱と誠をもつて大いに精進誠意、大東亞戰完遂に邁進する覺悟である【寫眞＝谷重龍山署長】

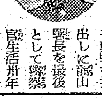
大いに働くよ 大石新事務官



京畿道地方課長兼總力課長から總督府總務局事務官に榮轉した大石新之助氏は新しい抱負を次の通り語つた

"もう二、三年京畿道で大いに頑張るつもりでゐたが、突然の異動で驚いた、併し國家に奉公する場所は選ばない、新任地でも大いに働きますよ、道在勤中、これなと言つて仕事はしなかつたが、上司の理解ある支援にあづかつて、つゝがなく過したことを感謝します【寫眞＝大石事務官】

警察界を去る人
挺身の卅年 會社入りする 川島卯之氏



千葉署を振出しに龍山署長を最後として警察官生活卅年に終止符を打つた川島卯之氏はこのほど各方面からその敏腕を惜まれつゝ勇退次の如く語つた

『さる四月ごろから健康を害しそれより辭意を抱いてをりましたがこのほど後進に道を讓つて辭めさせて戴くことになりました、私は大正三年十一月千葉署を振り出しに同八年渡鮮、江原道谷署を轉勤ののち昨十六年二月龍山署長の下命となつたが今日まで卅年間江湖の十分なる期待に副ひ得ず今日あらしめた上司に對しても誠に慚愧の至りです、今後も各位の一層の御鞭撻をひとへに願つて止みません』

なほ勇退後は東洋燐寸木材會社の常務取締役に就任の模樣である【寫眞＝川島氏】

盡きぬ思ひ出 佐々木氏の別辭

廿七年間を專ら治安確保に挺身した城東署長佐々木清一氏は名殘り惜しい同署長の椅子を最後に勇退したが、流石にしんみりと次の如く語つた

『僕が警察官になつたのは大正五年で、この間僕にとつて多くの思ひ出もあるが、憲兵警察制度から現在の警察制度に改革された當時は色々な人員問題で在來憲兵、內地、養成所から推薦された混淆たる警察官で、警民一體といふとは想像も出來なかつたのです、大正十二年になつて、漸く文化警察になつてきました、これは僕の半生を記錄した歷史とでもいへませうか、思へば夢のやうな廿七年間でした、まだはつきり職は決つてゐないが、適當な職が見つかり次第最後まで御國のため御奉公させて戴きたいと思ひます【寫眞＝退官の佐々木氏】

火魔"忽ち滅す お巡りさんのお手柄

殊勳甲の警察官が表彰された― 去る廿三日午前三時四十五分ごろ鍾路五ノ二三三鳳凰商店金鐘甲龍氏の進氣コタツから發火、火勢急ならんとしたところ、折よく警戒勤務中の東大門署巡査部長須田清春氏が發見、主人を呼び起す一方萬端の避難を圖つて、直ちに鎭火したが"これこそ警察官の殊勳である"と廿四日稻田署長から金一封を授與された

貯蓄に國強し

"貯蓄こそ米英擊滅の砲火だ"と銃後國民の貯蓄精神を昂揚するため、東大門貯蓄部では廿四日午後一時から東大門國民學校講堂で、富岡地方遞信局長臨席、管內の愛國班長、町會役員八百餘名參集の下に『貯蓄奬勵並に燈火管制措置に關する講演會』を開催した、式は國民儀禮からはじまり、木下貯蓄部長の開會の辭に次いで富岡地方遞信局長立つて"國內を強固にするには貯蓄に俟つほかありません、盧費を排除するとゝもに消費節約に努めて貯蓄奉公に邁進せねば戰爭に勝つことは出來ぬ"との講演があつて萬歲奉唱ののち、同三時ごろ閉會した

道商生徒が旱害へ六十餘圓

京畿商業學校では生徒一同が學用品代を節約した六十一圓八十錢を旱害義損金として廿四日本社へ寄託した

タイプを武器に起つ遺族
街の訪問袋

◇……カタ、カタ、カタ…とキイ打つ手にも力がこもり南に北に活躍する兄さんと父さんの雄々しい姿が瞼に浮んで…について授產場のタイプ科では懸命な修練の三ケ月でした、やがて輝かしい卒業の日

◇……廿四日午前十一時から京城軍事援護授產所で千田所長(總務部長)藤原兵務課長以下列席晴れの修了證書授與式が行はれました感激の瞳うるませて宮原いつ子さん(二〇)ほか七名は職業戰線へ巢立ちました

【寫眞＝嬉しいタイプ科修了式】

半島縮刷版

十四歲の豆先生 平北の教員試驗に見事合格

【新義州】過般平北道で施行した國民學校三種教員試驗合格者がこの程發表されたがそのうちには今年十四歲の紅顏少年が一人、十六歲の若い國學少年が四名いづれも目出度く合格者名簿に名を列ねて試驗官をびつくりさせた

十四歲の少年は本籍龜城郡館西面館西洞伊佐橋、現在博川郡台峰國民學校高等科二年に在學中の吉田定修君で平北教員試驗制度始つて以來の最年少者であるあとの十六歲組は龜山郡委延面龍洞、李岩洞、從四面洞、林面江岩洞、山崗洞、泰川郡、龜城郡洞東面、同坪里金原良子の諸君でしかも何れも優秀な成績で合格といふ、これまた近頃珍しい快擧組である

學園に漲る決戰色

【木浦】決戰下らしい足取りの歲末街に最近女學生のモンペ部隊が颯爽とスクラム組んで歩くのが目立つ、木浦高女では大東亞戰爭第二年目を迎へた去る八日『二年目は決戰だ』の實踐を全校一心となつてこれが實踐に邁進することゝなり、その具體案を全生徒にはかり盛り上る力によつて『醇風を養ふ』ようとイの一番に決議したのがこのモンペ常用の議であつた、不斷恥かしいとか何とかは昔のことだと乙女の胸にも決戰の意を決意なまづかうした姿によく現れて銃後街行と一心、第一にしたものだ、第二には節約一萬円の完遂、全生徒四百餘名が月五十錢の愛國貯金を一円に倍加し全校職員もこれに參加し、向ふ一ケ年一萬円を完遂し總て心に應えて勤勞に生むを基調として貯蓄の申合で、第三には向ふ一ケ年間に慰問文一萬通の發送といふ計畫が樹てられたのである、同校では『戰勝』に代ふるに『必勝祈念』となし代表者祈念の詞を捧げて精神の統一をはかることとして實行してゐるが『銃後の奉公を徹底します』と詞の結びはつきりと決戰にふさはしい『實踐』をその日の信條としてゐるなどキリリッとしたモンペ姿となつた、一切がかうした尊い信念に導かれてゐることがわかつて嬉しい話題を提供してゐる

釜山魚市は大景氣

【釜山】釜山中央市場鮮魚部における本年一月から十一月までの水揚高は六百六十三萬円で豫定の六百萬円を遙かに突破し水產戰士の意氣を強めてゐる、これは下半期に至り各區域に分散的に陸揚げされたものを一ケ所に集荷した結果十一月の如きは九十六萬九千円に達し約二年ぶりに前年同期より一萬四千円の增加を示したものである

感激盛つた副讀本

【海州】大東亞戰爭一周年記念として海州幸町公立高等女學校では名も床しい『大東亞建設讀本』を發行三百五十餘名の全校生の副讀本として採用することになつたが、これは同校中村校長をはじめ桑原教諭が編纂に當つたもので主として大東亞戰爭勃發以來新聞雜誌に現はれた最も感激多き場面を輯錄したもので各方面から絕讚を博してゐる

ラジオ 25日

朝 七・〇〇ー思想と戰爭生活ー齋藤勇2愛國詩(錄音) 石黑敬七▲八・〇〇今日のお知らせ▲八・三〇赤誠に燃ゆる一年 陸軍々樂隊 田耕作▲九・三〇吹奏樂、陸軍々樂隊

晝 〇・三〇ラッパと手風琴合唱一、ラッパ吹奏『御稜威の力』二、手風琴合奏『敷島艦行進曲』ほか(ラッパ)吉田弘ほか(手風琴)大野手風琴樂團▲一・〇〇愛國百人一首の話(五)齋藤

夜 六・〇〇ーシンプン2日本物語『光の國日本』(神皇正統記より)久留島武彥▲六・三〇相の栽培法(下)佐藤健吉▲七・三〇『香港攻略戰』陸軍中佐多田督知▲七・五〇『中支だより』『北支だより』と▲八・〇〇ー浪花節『國定忠治』酒井雲2筝・尺八フルート三重奏『お江戶日本橋』ほか東京室內樂團▲九・〇〇(錄音)ー詩吟、細柳色2放送小說『霧晴れて』高山馨夫3歌曲、松本ほか

大いなる祭 【18】
中野實(作) 三芳悌吉(繪)

歷史の日(六)

『輝時英さんで……』

さつき芥川が口にしてゐた昨夜の男も輝といふのだつたし、その輝からこの病院を聞いたのだとすれば、この患者も別に無關係の他人でもないやうな氣が英子はした。

『たしか飛行將校だつた人よ』

『あら、あの方飛行將校なんですか』

貴夫人は探るやうに云つた。

思はず英子は昨夜のことを思ひ出しながら彼女の話に乘つた。

『さうなんですつて。知つてゐるでせう』

英子は戶迷ひ、

『なんですか、あたし、來たてでまだよく判らないんですの』

『さう』

貴夫人は不機嫌さうに口を噤んだが、また微に笑をふくんで、

『お蔭で大分氣分がよくなつたやうですわ』

といひながら起ち上らうとした

『構ひませんから。どうぞ』

『有難う。もういゝんですの』

貴婦人は元氣になり上半身を起すと親しみのこもつた口ぶりで、

『あなた大阪?』

『あら』

『廣東語がお上手だわ』

『ほんとよ。もうずうつと長く此方にゐたんでせう』

『いゝえ。半年ほど前に廣東へ出たんですわ』

『廣東にいらつしたの。さうお』

何氣なく貴夫人は話を聯きながら、

『そして、今お住居はどちら?こゝに泊つていらつしやるの?』

『いゝえ、先生のお家にゐるんですのよ』

『さう。おやめ』

と、彼女はすかさず、

『輝時英さんも小澤先生のお宅にいらつしやるのね』

『いゝえ。輝さんは遊ふらしいんですわ』

『だつて、あなたは輝さんを御存じなんでせう』

『えゝ、それが……』

と、問ひつめられて英子がためらふと、貴婦人は、美しい齒並を見せて、

『ほゝ、なんだかあたし輝さんを追つかけてゐるみたい。止しませう。もうその話は、それより、これからお友達になりませう。この次の日曜に誘ひに來ますわ。待つてゐて下さいね』

彼女はすつかり元氣になり、病院を出ると、待たせてあつた自動車に乘り込んだ。板橋堂宅から米栖街、やがて山手にさしかゝると自動車は一軒の別莊風の建物の前にぴたりと停つた。すると、待ち構へてゐたやうに門の陰から一人の背廣の男が現れ、扉をあけると背を丸めて貴夫人の橫のシートに腰を下ろした。ふたゝび自動車はゆるやかなエンヂンの音をたてゝ走り出した。

『どうだ、美々。うまく行つたか』

貴夫人に化けてゐた美々は默つてうなづいた。

『どこへおいた』

『應接室の長椅子の下へ仕掛けておいたわ』

『うむ。そいつは大出來だ』

男は腕時計を見て、

『あと二時間もすりやあドカンと來らあ。はつはつは』

といひながら、男は冷い美々の手を握りしめた。

瞬く細の生え上つた男は張三際。

新刊紹介

▲サムハンの太陽(伊藤松雄著)三韓時代に題材を求めた歷史小說著那姬とヤマト人の武將との契りを幻想に富んだ筆致で描いてゐる(一円五十錢、東京、神田、神保町一ノ五三玉井清文堂)

▲南方技術(第一輯)南方技術に關する研究誌(一円五十錢、東京麴町・丸ノ內三ノ六、土木雜誌社)▲改造(十二月號)▲開拓(十二月號)

▲川筋の女(垣江林之助著)筑豐炭田に題材を求めた書き下し長篇小說であるが、また明治末期から昭和に亘る間の歷史の流れが全篇に織り込まれて一つの筑豐發展史を形成してゐる(二円東京、小石川林町四一、櫻華社出版部)

▲映畫(十二月號)▲日本(十二月號)▲東大陸(十二月號)▲文藝日本(十二月號)

思想の花 伊東ハンニを思ふ

關口文三郞編著 定價二圓五〇 送料一七 東京神田 東亞書房

若き詩人にして世界的大思想家たる伊東ハンニの詩を讀み、歐米を敵とす。ハンニの詩は血で書かれ、彼の詩は東洋十億の涙を拭ふ手拭ひとして作られた。日本、皇室を中心とする新東洋建設のためにその生涯を捧げた伊東ハンニ。十年以前新東洋主義を提唱して、世界舊體制の崩壞に盲斷せる君社なるハンニの思想、逞しきその行動、そして大活火山の如きハンニの情熱と氣魄を本書によつて摑め。日本國民主義の提唱者、新世界の預言者、十年前に早くも全東洋より米英追放を宣言せるハンニの不思議は何人と雖も注目するところ、討將運動の指導者日本國民運動の大先覺者、新東洋建設運動の實行者たるハンニの名は、東洋と西洋、乃ち半球二つと云ふ意味であると云はれてゐる。

うまいチョコレート錠!
森永スタウト
ビタミンB2は戰時下の健康になくてはならぬ發育强壯劑です
四〇錠一・八〇 八五錠一・四五
東京・芝・田町 森永藥品株式會社
コー29

痔に アラスター 坐藥 軟膏
說明書無代進呈
痔疾患者の中には色々手を盡しても、どうしてもサッパリとは治らないので、これは持病だとか、不治の病だとあきらめてゐる方が多いやうですが、痔疾は適應な療法さへすればそんなにむづかしい病氣でなく簡單に治るものです。それにはアラスターの治療などは最もふさわしいものであります。頑固な痔疾の方にも是非おすゝめしたい藥であります。
全國藥店ニ有リ
發賣元 花生堂藥品株式會社 東京・日本橋・橫山町一〇 振替東京三四七四番

逞しい體力と氣力! この溫浴で……生む!
手輕で經濟な治病增健!卓効!
六〇ハップ
特効☆神經痛 リウマチ 婦人病 皮膚病 ぢ疾

サントリーウヰスキーの 歷史
出生地は詳かではないが蘇格蘭乃至愛蘭で育つた。西紀一一七〇年、英蘭の愛蘭征服によつて始めて英蘭に紹介され、弘く賞味されるに及んで、長期貯藏法や調合法等が發見されて品質風味が向上した。純國產原料によつて始めて日本で造られたのは大正十二年である。
サントリーウヰスキー

目やく
八幡市西本町八 學生堂

特許品 新發賣 中古本革靴特賣
新品同樣一號 十一圓九十錢
新品同樣二號 十一圓九十錢(不同品替返金自由)
本品は新品同樣にして署訓練上用として各地より大好評を博して居ります
送料 內地四五錢 外地八〇錢
代引中止(代金引換中止により許又は送金にて願ひます)
(カタログ四錢要す)
名古屋市東區大曾根町二ノ三〇〇 村瀨桂一商店 振替名古屋五三四三番

今日の祭日は御家族連れで
南歐千一夜
ジーグフリード・シュレンベルゲ イヴンヌ・ペトロヴィッチ ルドルフ・クライン・ロッゲ ヤルミラ・ノヴォトナ
南歐が甘い夢の世界であつたのは過ぎ去つた昔であつた!今こそ、地中海爭鬪戰をめぐる男と男、國家と國家の活舞台だ! 巨匠ラング門下の逸才がおくる第二次世界大戰前夜の一頁がこれだ!
美しい横顔 木暮實千代 三宅邦子 德大寺伸 河村黎吉 松竹大船映畫作
廿四日ヨリ 廿六日マデ
中央劇場

決算公告

第十二期決算公告(昭和十七年十一月三十日現在) 貸借對照表 親和木材株式會社 [illegible]

第一期決算公告(昭和十七年十一月三十日現在) 貸借對照表 丹陽石炭工業株式會社 [illegible]

第四期決算報告(昭和十七年十一月三十日現在) 貸借對照表 大興貿易株式會社 [illegible]

第七期決算公告(昭和十七年十一月三十日現在) 貸借對照表 京城菓子株式會社 [illegible]

第二十七回決算公告(自昭和十六年十二月一日至昭和十七年十一月卅日) 貸借對照表 [illegible]

第一回決算公告(昭和十七年十一月十八日現在) 貸借對照表 江原道糧穀株式會社 [illegible]

貸借對照表 日蓄工業株式會社(昭和十七年…) [illegible]

看護婦 [illegible]
古着 古洋服賣買 高價買入れます 江原衣服店
ピアノ・オルガン 修繕・調律・賣買
タイプ印書引受 邦英タイプ印書 電話本局(2)八六一一番
タイピスト 邦英タイピスト養成所
京日案內廣告の御用は京日案內廣告部へお問ひ合せ下さい
プリント(謄寫印刷)
都旅館 交通便利 暖房設備 昭和通りロータリー 南山町一ノ五 電本三〇七四番
尋犬
日收 資金不要!
十二指腸丸

京日案內 案內料金(前金)
種別	一件一回
一號型(三行)	金參圓參拾錢
二號型(五行)	金五圓五拾錢
三號型(十行)	金拾壹圓
求職一號型	金壹圓六拾錢
姓名在社の御照會は午前九時より午後五時まで廣告部へ御問合せの事

女中入用(至急採用) 苑正旅館 電東二一七八二
求女
賣家 郊外住宅として最適の新築
貸間 有り
電話賣買
交換
男子 求む
集金人 募集
男女事務員採用
掛置時計修繕工 募集
事務員採用 日本鑛業文社
女子事務員採用 豐國製菓株式會社
求タイピスト 日蓄工業株式會社

二十一日より六日間 本年掉尾を飾る發笑版 笑ひの王 志賀廼家淡海 お名殘り狂言 一、無用の者 二、孝道婦道 三、愛の設計圖 四、らそ 朝日座
劇團星群 十二月二十三日 林仙之作 愛の後に來るもの 二幕三場 殷鶴山作 お父さんはお人好し 一幕 一月元日より一月五日まで晝夜二回上演致します 東洋劇場
二十四日ヨリ三日間 ニュース 映畫月報廿二號 大都映畫 村長さん八字髭 山口俊太郎 時代劇 宮本武藏 大巣寺八郎・松山宗三郎 新富座
廿五日より ニュース 起ち上る泰 朝鮮名畫 蒼空 文藝峰・李化三 ともだち 桃花劇場
二十四日ヨリ上映 ニュース 文化映畫 新興映畫作 金毛狐 鈴木澄子 四ツ谷怪談 浪花館
二十五日より 日本ニュース 三三號 ヴァイオリン 南の風 水戶光子・高峰三枝子・佐分利信 大陸劇場
休館お知らせ 十二月二十三日より二十九日迄改築の爲め休館 三十日より新正第壹週番組發表 京劇
二十三日ヨリ獨占上映 日本ニュース 琵琶湖 淡水魚 京洛の舞 城寶

二十四日より二十六日まで 日曜祭日は午前十時半より上映 日本ニュース(第一三三號) 東京發聲映畫製作 大地に祈る 里見藍子・千葉早智子・佐伯秀男 共演 全八卷 和信映畫館
廿三日より時間表 ニュース われらの進擊路 あなたは狙はれてゐる 日曜日は午前九時開場 明治座
廿二日より廿六日迄 日本ニュース 第三一三號 文化映畫 蜜蜂の集團生活 東寶映畫 笑ふ地球に朝が來る 岸井明・滿川虹子 美しき横顔 木暮實千代・德大寺伸 夜の部六時開場 城南劇場
二十四日ヨリ二十六日迄 日本ニュース 文化映畫 松竹映畫 美しき横顔 佐分利信・三宅邦子 南歐千一夜 獨乙ACT特作 ジーグフリード・シュレンベルゲ 中央劇場
十二月二十二日より ニュース 朝鮮時報 われ等の進擊路 あなたは狙はれてゐる 但し日曜祭日のみ午前九時三十分開場致します 若劇
十二月廿五日より四日間 日本ニュース 文化映畫 續南の風 松竹映畫 佐分利信 水戶光子・高峰三枝子 喜樂館
廿一日ー廿五日 朝鮮三周年記念 1ホームグラフ 2躍進ニュース映畫發達史(全8卷) 3日本ニュース 躍進のあと 宮文化映畫劇場
廿五日より三日間 晝一時夜六時半 城寶樂劇隊 萬華鏡 唄と踊り 十四景 新體制女中 二景 城寶傑作集 グランドショー 十八景 京城寶塚劇場

夕刊 京城日報

大御心に應へ奉り 神前に誓ふ米英撃滅

…けふ神宮大前で… 大東亞戰爭完遂祈願祭

畏くも 天皇陛下には皇大神宮に御參拜一億蒼生に大東亞戰爭完遂の御祈念を御示し給うた大御心に應へ奉つて廿四日全鮮一齊に神社、神祠大前に於てそれぞれ大東亞戰爭完遂祈願祭は執行された、この日半島二千四百萬に遍く神威の光を垂れ給ふ朝鮮神宮では午前十時より中祭をもつて祭祀を嚴修、小磯總督、板垣朝鮮軍司令官以下各官民、愛國班代表約五百名參列の下に嚴かな大東亞戰爭完遂祈願を大前に捧げた、たなびく祭霞に包む朝陽に照り映えてしづもる眞榊木もひとしほ莊嚴なる神前に、今こそ神樂の音につれて二千四百萬の祈願はじまつた、續いて宮司奏する祝詞に深く頭を垂れた五百の參列者はたゞ只管に聖戰完勝の祈念を籠める、かくて小磯總督、板垣軍司令官、中樞院顧問韓相龍、伊東致昊兩氏、李恒九李王職長官、貴族院代表李垠元子、文官總代伊藤泰吉氏、陸軍武官總代井原朝鮮軍參謀長、海軍武官總代松木大佐、府民代表古市京城府尹の玉串奉奠があつて同十一時半祭儀を終つた

皇后陛下 多摩陵御參拜

【東京電話】畏くも皇后陛下には、二十四日多摩陵に行啓、親しく大正天皇の御神靈に御拜あらせられた、陛下にはこの日侍從次長以下供奉の略式自動車列にて午前九時十分宮城御出門、同九時三十分原宿驛より宮廷列車に召させられ同十時三十分東淺川驛御着、多摩陵に行啓、金田諸陵頭御先導にて御拜座につかせられ御玉串を御手に恭しく御拜禮あらせられた、ついで一旦陵所御休所に御立寄りののち同十一時廿分同所御發、東淺川驛より宮廷列車に召させられて午後零時二十五分原宿驛に御着、御機嫌御うるはしく宮城に還啓あらせられた

フランコ將軍 葡國を訪問

【ストツクホルム廿三日同盟】ストツクホルムのスカンヂナビヤ通信社リスボン特派員の報道によれば、スペイン統領フランコ將軍は、近くリスボンを訪問、カルモナ大統領以下のポルトガル政府首腦と會談を行ふこととなつたといはれる

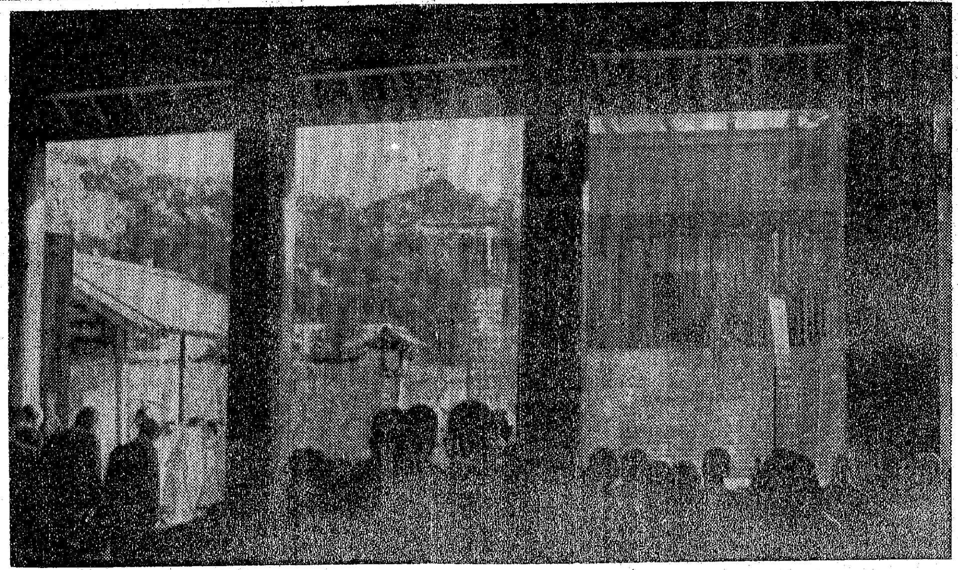
各地の祈願祭

仁川 【仁川電話】大神の在すところ、嚴縮たる皇猷彌榮えに榮えまし國土は安穩、神國日本の嚴然として悠遠な生命がある、一億蒼生大御心を奉體、三戰捷總の聖戰戰蹟と相まつて米英撃滅の決意を神前に固く誓ひ、神靈の御加護を祈願する聖戰完遂祈願祭の日、仁川神社では勅令による中祭を嚴かに執り行つた、この日定刻午前十一時池田府尹、岡崎保安課長、李容所長、李富川郡守、氏子總代加藤平太郎氏らのほか各町愛國班、各學校、銃後、婦人團體が多數參列、修祓とともに四海ひよりの陽光神域にさんさんとふりそゝいで森嚴一しほの中に磯野宮司しづしづと寶殿神殿の御扉を開き恭しく降神の儀が行はれて祝詞を奏上、靜寂につゝまれた神域に嚴として聲なく粛々と胸にせまるは米英撃滅の新たなる決意、瞼に泛ぶは世界に隔絶する麗はしき神國日本の精華、……撤饌、昇神の儀があれば廿萬府民を代表する池田府尹玉串を奉奠、參列者一同心底深く〝聖戰萬歳〟を唱んで敬虔な底膺は正午戰勝とゝもに終了した、仰げば空は蒼古の色をたゝへた碧さ、踵をかへして仁川沖を眺すれば過ぐる日の大東亞戰爭緒戰に〝必勝日本〟の戰捷第一陣を得たその海の波もことさら白く〝米英撃滅〟の誓らぬ瞻示を見せるやうだ

釜山 【釜山電話】國幣小社龍頭山神社では廿四日午前九時から全國十一萬餘の神社を擧げて奉齋される大東亞戰爭完遂祈願祭に卽應して國民總力慶南聯盟、釜山府聯盟を總動員し中祭をもつて神助のもと二百四十萬道民必勝の決意を誓ひ奉つた

光州 【光州電話】第一線に立つて護國の大役を背負ひて無敵皇軍の名を世界戰史上かつてみざる大記錄を印しつゝあるとき銃後の國民また心からなる誠を捧げようと廿四日午前十時を期して全南道聯盟では府聯盟と協同して大東亞戰爭完遂の祈願祭を執行し銃後國民の職域奉公を誓ひ斷じて勝ち抜くぞとの意氣を固く示した

平壤 【平壤電話】全島二千四百萬擧つて神威の顯揚を祈る神社共中祭を以つて祈願する廿四日平壤神社においても午前十時よりいと嚴かに祭典が行はれた、この日牡丹台一帶の神域は陽光さんさんたる中に下飯坂平南知事を初め池平壤府尹代理、長谷川地方法院長、軍部側から[illegible]、道民代表濱田貞輔氏を初め各官公廳、銀行、會社代表等約六百名參列して修祓より始まり宮司獻饌に神前に進み開扉を行ひ、獻饌の後、大東亞戰爭の戰果奉告と神明の加護愈よ厚からんことの祝詞奏上ありて下飯坂知事始め諸氏の玉串奉奠があり愈よ聖戰完遂の祈願に決意を固め午前十一時この意義深き祈願祭を終了した



朝鮮神宮の祈願祭 玉串を奉奠して退下する小磯總督

曉闇に祈る赤子

神域たゞ嚴肅に冴ゆ

この朝の神宮

月影に淡く霞んで短い京都の東山を思はせる神域南山、こゝに鎭まり給ふ朝鮮神宮においては記念すべき十二月廿四日、畏くも聖慮を奉體し、且つ朝鮮十三道二千四百萬同胞の烈々なる祖國の祈りをも籠めて嚴かにも皇軍の大戰果奉告と戰捷祈願の歴史的なる祭典が執行されようとして、二十三日午後一時より緒賀宮司以下の神職は身を淨め心愼ましくして參籠に入つてゐる——參道に立つて仰ぐとき、鬱山には神も同胞の赤誠を嘉して降居ましますかと思はれるばかりの莊嚴さが感じられ、月影を踏みつゝ、私はいまだ曉に至らぬしじまのなかに襟を正した

◇……畏くも 聖上陛下におかせられては、過ぐる日み躬ら伊勢大神宮に御直拜、曠古の大戰果を御奉告あらせ給ひ、併せて大東亞戰爭の御祈願あらせられた、一億の民草この御聖儀を拜して溢るゝ感激のあまりに泣かぬものがあつたらう、やがて聖旨を拜し奉つた全國津々浦々の神に仕へる人達は起ち上り、一齊に祈願祭を執行したが、わが朝鮮に於てもこの日全道六十二神社は、二千四百萬同胞の赤誠を披瀝し、一齊にこれを執り行ひ、全朝鮮の總護と神鎭まります朝鮮神宮では午前十時から小磯總督、板垣軍司令官以下、軍官民參拜の下に嚴かなる祭典が執行されるのである、これに先立つて、前日午後一時から神宮にあつては緒賀宮司以下、謹みて參籠し、夜をこめて天神地祇に神慮を擬げつゝあつた

◇……私はその莊嚴さと應かけて參拜し、常の日よりも更に敬虔なる戰捷完遂の祈願を捧げる同胞の姿に接したく、午前四時に起床、身を淨めて參拜した、眼の下にかけて遙かに展けた街々はいまだ深く眠り、山容また月下に紫のとばり深く垂れたところに人影もない參道を靴音もつゝしむ思ひして上つて行くと、既に神域にひとしほの趣きを添ふるが如く鷄の群が鳴き交はしつゝ彼移りしてある、外套を脱いで大鳥居をくゞり、一歩を神苑に踏み入れると、淨闇の奥深く

本殿 のあたり、灯影揺いにかしこにぞ尊き神が降居ましますかと思はれ、身のひき緊る思ひがする、玉砂利の一つ一つ、きらめく星の光りを浮み、手洗ひ場の薄氷を破つて、口すゝぎ、踏むに心がおそれる、手をきよめて神殿に詣る、早くもほのかな闇のなかに浮きぼりしたる如く少女の深く身を折り伏せ、念じゐる姿があつた、おそらくは戰場に愛兒を送つてゐる軍國の母でもあらう、いつまでも身じろぎだにしない

◇……私も祝詞を奏上し終つて退りがある、時計をみるとまさに五時四十分、先頭の二人は半島出身の靑年らしいが、凛然たる國民服姿に凛とした態度で參籠し作法に叶つた禮拜をなした、この二人は本町青年團に屬する男本啓高原泰鎬の

兩君 であつた、つゞく一人は皇風社主幹三浦一郎氏、さらに可憐なる六人の半島少年が、これもまた正しく柏手して敬虔な祈念を捧げ、すめらみたみの欣びを以て戰捷完遂を願ひ奉ると奏上する、この少年達が神國を負うて起つ日を思へば、まことに感激しい限りであつたが、胸につけた徽章によつて陸軍國民學校六年生中秀君に引率された一隊と見受けられた、其頃になつて人足漸く繁く、大鳥居のあたりからしまみちをかけて神に奉仕する人々の姿がなにか尊いものゝ樣に見られた

◇……これは大正十四年十月十五日の御鎭座以來、雨の日も雪の日にも缺かすことなく奉仕する林田佐八郎氏の一團であるとわかり、私は遠くからその美しい行爲と敬神崇祖の眞心に合掌を捧げた、六時を過ぎて夜はほのぼのとあけ、神殿の屋根も幽山の頂きも、ほのかな光りに浮き立ち、ひとしほの

靈氣 が漂ふ、しかも木の間にも神域にも霞の棚引く有樣は、春かと思ふ和やかさである、神殿には、みあかしの影がまた深濃を經て、朝の淨めと、神官達が奉仕するのであらう、白衣の姿がちらついて神々しい、そのうちに時は移り、八時ともなると同時に颯然たる一隊の兵士、隊伍らしい一團、教師に引率された國民學校生徒、男女中等學生らの參拜が踵を接して參道から神苑にかけて續くが如き人並みとなつた

◇……夜があけてみると、本殿はおごかな御紋章を染めた幕が張りめぐらされ、苑内の兩側には幄舎が並んでゐる、小磯總督、板垣軍司令官らが參拜されるのを迎へる用意とみられた、柏手の音、祝詞奏上の聲のしげきがなかに、總督祭典の時は近づかうとする、折しも一般參拜者の群がなにか波うてる如く嚴然として、遠く坂を上り來る自動車のわだちが聞える如きは小磯總督の參拜されたのであらうか、私はもう一度神殿に向つて拜を遂げ、靜かにまかり退つた【楢田敏郎謹記】

史上に拜す歴朝の聖慮

神國日本の夜明け 攘夷に躍る若き生命 【九】

聖代に生くるもの、片時も忘れてはならぬのは孝明天皇の御聖徳である。孝明天皇は第百廿一代の御天子として御卽位遊ばされた。仁孝天皇の第四皇子に在しまし、弘化三年に御踐祚あらせられた。申すも畏けれども英邁明智にいまし、その皇太子に在します御時から、皇國の隆替と、國本の確立を念ぜられた。光格天皇の御代、すでに諸國の周邊に外國の艦船出沒し、その野望を露骨に示すものがあるので、國内には憂國の海防論が起り、先覺者たちは今にして確乎たる方針を立てるのでなくては必ず國を誤るであらうと憂ひ、朝廷内にも在野にも、また江戸幕府内部にも議論百出して喧々囂々かでなかつた。

天皇御卽位の後はその侵寇が愈よ進み、南は九州に、北は蝦夷に外國艦船がうかがひ寄るので、志ある者は攘夷を叫んで起ち、また國防を嚴にして神國日本の寸土をも侵さすまいと決心した。しかし幕府を初め、各藩主達は長い太平の夢に耽れて、何の方策をも樹てることが出來なかつたので、上下の間に險惡なる空氣がみなぎり、志士達は慨嘆し、國學者達は國防の策を立てゝ、それを幕府に建言しつゝあつた。

……◇……

遂に嘉永六年、米國はペルリを使者として、オロシヤはプチャーチンを使者として、所謂黑船を浦賀にかなるわが海岸にまで押寄せしめた。開國か、攘夷か、國論は定まるべくもない。若しこのまゝ彼等の請ひを容れて開國するとなれば、幕府に於ての用意がないから、おそらく彼等の不遜なる野望を遂げしむるより外なき狀態となるらう。また攘夷に立つて彼等を追ふとすれば、戰備をいかにすればいゝか。徳川幕府の威令は既に天下に行はれなくなつてゐるし、各藩の態度も一致してゐない。彼等を追ふとなれば必ず砲火のあひだに見えねばならぬ。攘夷を唱へて起ち上つた志士達の旺なる意氣は米國を吞むの概を持ちはするが日本は彼等の如き軍艦を持たぬ状だから、武器、兵の訓練といふ點で、果して戰鬪に堪へ得るかどうかわからない。神の盛め給うた大日本帝國が、戎狄のために汚されることは斷じてない。それは信念であり、神國の尊さである。だが、たゞならぬ風雲がどう變るかといふ國際的な問題になると誰にもわからない。畏くも天皇におかせられては、この事に關して御軫念あらせ給うた。御躬をもつて國難に當らせとの聖慮により、その六月十七日、七社七寺に攘夷御祈禱を御命じ遊ばされた。その御時、奉行に對して下賜あらせられた御宸翰には〝[illegible]〟と拜することが出來た

こと國もなづめる人ものこりなくはらひつくさむ神風もがな

朝の風吹きおこしても天つ日をもとの光にかへすぞ待つ

御製にて、このやうに仰せられたのを拜しても、いかに叡慮を惱まし給うたかを窺ひ奉ることが出來る。

……◇……

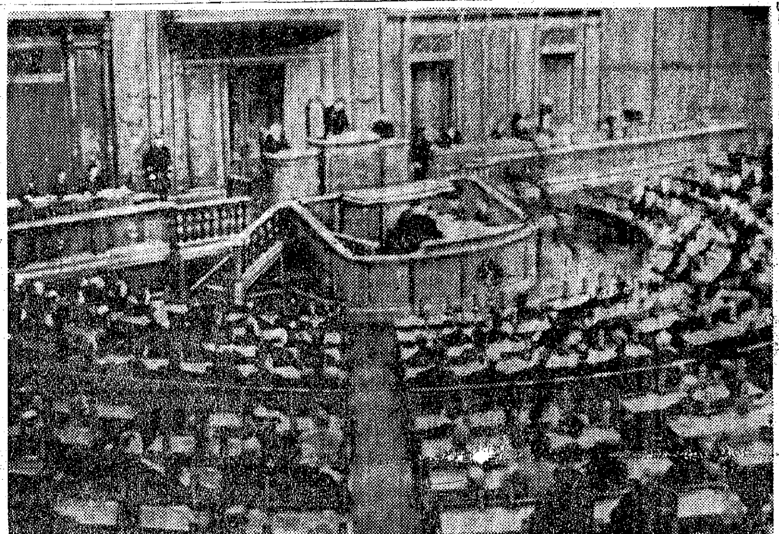
異國の船も、國に叛ひする者も吹き拂ふための神風を祈らせられた。神風によつて徳川幕府が倒れて王政の御代になればとも御祈念遊ばされた御事である。神風は伊勢の大神がこれを吹かしめ給ふ。天皇はこのやうに神通を乞ひ給ひて、豊葦原の國を神が盛め給うた時の狀態に返さうと遊ばされたのであつた。

だが、幕府は黑船渡來に怯えて、斷を立てること能はず、たゞ國内の輿論を押へ、その日を安穩に過ごすことばかり努へた。その間にも攘夷の論が起り、形勢は惡化の一路を辿つた。國内に對しては强硬であつた幕府も、黑船に對しては手がなく、弱腰が嘆かれるに及び、神國の國威を失墜せしめたので、遂には朝廷の聖旨にそむき奉りて勅許を待たずして開國條約に調印するに至つた。これはまさに國賊の態度である。天下の物論は騒然となつたのに不思議はない。朝廷におかせられても、徳川幕府の罪を鳴らさせ給ひ、志士、國學者達は國賊徳川を討つべしとしたので時の將軍家茂はやむなく世嗣の慶喜を伴つて上洛することになつた。江戸に幕府を開いて以來三百五十年、おのれ天下の權を握れる如く過信して朝權の振舞ひあり朝廷の御儀禮にあらせ給ふのをすら顧みることのなかつた徳川が、父子相伴つて上洛し拜謁を乞ひ奉つたのは當然のことではあるが將く末の有樣と見られると同時に天緊狹宏の時至れりと志士達が心で喜んだ有樣は今も眼に見る如くである。

……◇……

この時志士として知られた神官の眞木和泉守は、その志明するところを長州侯の世子毛利元徳によつて奏上した。これは直ちに御嘉納あらせられ、上賀茂、下賀茂神社に攘夷御祈念のため御親拜遊ばされる御事に御治定、三月十一日、關白以下の公卿、文武百官が從ひ奉つたが、まことに振古の御盛儀と拜することが出來、京都の民草は淚を流して御代の榮えを壽ぎ奉つた。しかも、その民草を最もよろこばせたのは、將軍父子がお行列の最後に衣冠をたゞし、騎しい武將を從へて扈從しまゐらせた光景であつた。〝世直りだ〟とさゝやき合つたといふが、これは世の中が正しきに歸るといふ意味であつて、幕府はいかに權勢を得んでもこれ陛下の臣に過ぎぬ。それをこの御行列ではつきり見ることが出來たので、民草が欣喜したのは當然であつた。

天皇におかせられては、さらに四月十一日、若葉に風そよぐ石清水八幡宮に鳳輦を進ませ給ひ、攘夷を御祈念あらせられた。これを拜し、そのお行列に從ひまゐらせた徳川家茂父子、まさに恥ぢて死ぬべきであつたと思ふ。この大御心を拜した志士は愈よ起ち上り、神國日本を正しきに返すため生命をも惜むまいとするに至つた（この項續く）



第八十一帝國議會召集 【岡田議長の挨拶＝衆議院にて】 電送

兩院けふ成立

貴族院

【東京電話】廿四日召集の貴族院は午前九時登院議員三百三名、本議場に參集一同の着席するを待つて同九時四分開議、松平議長よりこれより本院規則第五條により抽籤をもつて部屬を決定するがその抽籤は議長に一任されたいついては議長は抽籤を行ひ、部屬表を各控室に配布する、各部の諸君は速かにその部において部長および理事の選擧を行ひ、その結果を議長まで報告を願ひたい、暫時休憩するとの發言あつて休憩、十時二十一分再開、松本議長各部において當選せる部長および理事の氏名を書記官をして朗讀させる、これにて本院の成立を告げた、本日はこれにて散會と宣し同九時卅五分散會しこの旨衆議院に通告した、なほ貴族院各部の部長および理事はそれぞれの部屬において互選の結果左の如く決定した

部	部長	理事
第一部	[illegible]	保科正昭子
第二部	徳川家正公	平塚廣義
第三部	一條實孝公	林博太郎伯
第四部	柳澤保承伯	松岡均平男
第五部	島津忠重公	塚本清治
第六部	井上三郎侯	舟橋清賢子
第七部	中山輔親侯	曾我祐邦子
第八部	細川護立侯	清岡長言子
第九部	島津忠承公	山岡萬之助

衆議院

【東京電話】召集日の衆議院は午前十時二十五分本會議場に參集、岡田議長『第八十一回帝國議會は本日をもつて召集された』と述べ補缺當選者の京間(?)議員（富山縣第一區）を議場に紹介ののち議長は議員の議席を指定し、ついで部屬の抽籤は議長に一任するに決し同三十分一旦休憩、同十一時再開休憩中各部で行つた部長および理事の互選の結果を報告、岡田議長これにて本院は成立した、よつてこの旨直ちに政府ならびに貴族院に通告する旨を宣し同三分に散會

【東京電話】決定せる衆議院各部の部長および理事左の如し

部	部長	理事
第一部	川崎巳之太郎	黑田巖
第二部	小泉又次郎	田中伊三次
第三部	吉川吉郎兵衛	濱田尚友
第四部	出井兵吉	有馬英治
第五部	齋藤隆夫	三木武夫
第六部	森[illegible]	村澤錢二郎
第七部	大口喜六	坂口平兵衛
第八部	加藤知正	福家俊一
第九部	松方幸次郎	宇田耕一

總督府辭令（廿三日附）

（全北）道警視[illegible]命全北[illegible]在勤▲全北府屬（六等）命全北[illegible]道原稻勝任道郡守（七等）命全北長水郡在勤▲全北郡屬元利貞任郡守（七等）命全北[illegible]在勤▲（龍山署長）道警視川島明之助敍高等官四等▲（大邱署長）同山田俊之助陞敍高等官五等▲（慶北高等課長）同河村正美陞敍高等官六等▲（全北長水）郡守[illegible]命全北金堤郡在勤▲（全北任實）同桂[illegible]命全北淳昌郡在勤▲（全北淳昌）同平村致黄命全北鎭安郡在勤▲（全北鎭安）同[illegible]命全北沃溝郡在勤▲（全北沃溝）同林忠正命全北南原郡在勤▲（全北茂朱）同金子泰東命全北高敞郡在勤▲（全北南原）同吳正夫▲（全北金堤）同咸安東敏▲（平南）本府道事務官[illegible]視永田仁助▲（全北高敞）本府郡守金光敏博▲專賣局副事務官内海留三郎▲同山口猛依願免本官（各通）▲（忠北）産業技師吉瀨一良▲（全北）同丸尾與[illegible]依願免本職（各通）

樞軸空軍、敵船五隻を撃沈

【ローマ廿三日同盟】イタリー軍司令部は廿二日樞軸空軍がアルジエー水域において過去二日間にわたり敵輸送船團を襲撃、大型輸送船五隻を撃沈した旨發表

消息

◇林繁藏氏（殖銀頭取）東上中廿五日朝歸城
◇兒部譲輔氏（日本水産朝鮮支店長）廿四日夜東上、一月十日歸城豫定

時の録音

第八十一議會けふ召集。
×
聖戰完遂へ、一億國民の忠誠を總結集せよ。
×
政府またこれに應へて、鬪火の熱情を披瀝せよ。
×
かくて、國策の遂行と翼賛精神の發揚に邁進なきや。
×
勇猛なき政戰が進んでお米を供出の美擧あり。
×
米は私のものであつて、私のものに非ず。
×
國の富はみなこれ國へ、これが國民の義務だ。
×
斷じて供出を怠つてはなるまい。

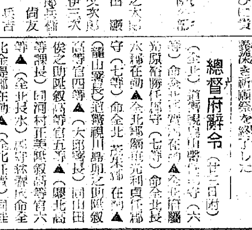
三和銀行（サンワ）
京城府南大門通二丁目

國民社新刊・重版
額田六福著（箱入特裝本） 勤勞青年劇脚本集 忠靈塔 B6判三八八頁 價二・五〇 〒一六 青少年の生活に潤ひを與へる絶好の脚本集!!
中河與一著（重版出來） 定本 萬葉の精神 萬葉に日本的精神の根據を見ようとする一般!! B6判二七〇頁 價二・三〇 〒一六
偶感 文學に志す人に 武者小路實篤著 價一・三〇
小說 美貌の海 中河與一著 價一・三〇
小說 山縣太貳 林房夫著 價一・三〇
戰記 兵站に戰ふ 北田[illegible]雄著 價一・五〇
少年少女向 日曜物語 加藤武雄著 價一・五〇
（送料各十六錢）
國民社 東京市神田區西神田二ノ四 振替東京一六九二七

Ⓟ あらゆる… 化膿性疾患に
適應症 急性・慢性淋疾 感冒・肺炎 化膿性婦人科疾患 扁桃腺炎 丹毒・中耳炎 化膿性眼科疾患
—製法特許—
最も進歩したズルフォンアミド劑 レギオン錠
製造發賣元 大日本製藥株式會社 大阪市東區道修町三丁目

ハイガ服んで健康へ!
激務・過勞は多量のB1を消耗し、脚氣その他のB1缺乏症を惹起するからハイガを服用するのが何よりである
三〇〇錠入 一円二〇セン
資生堂の強力ビタミンB1 ハイガ
一錠中一七γビタミンB1含有
發賣元 東京銀座 資生堂 製造元 資生堂製藥株式會社

パピリオ
クレーム三種、粉白粉十二色、ほゝ紅十二色、口紅八色

手足しびれ、小用近く、頭重 不眠、耳鳴、舌もつれ、半身不隨に
高血壓・中風
好評の最新學説 急所（血壓中樞）に特殊ホルモン補給の新療法とは?
油斷すれば腦溢血で斃れます!
今迄知られなかつた高血壓、中風の急所—「血壓中樞」が最近有名なリツケル教授や内外の諸學者により發見され、更にホルモンが缺乏するや忽ち狂ひ、右の如きたゞならぬ病苦が續出し、一歩あやまれば依然、腦溢血（中風）で斃れると云ふ新事實が世界的に認められました。本劑はこの新學説に基き急所を治す目的で漸く完成された類のない貴重ホルモン藥で、前記諸病苦は勿論永年の中風にも多大の好評を博してゐます。斃れてからは手遲れ、病者よ、後頭部に思ひ當らずや


ここが急所
説明書無代送呈… 詳しくは説明書御一讀乞ふ。御申込は發賣元へ
ヤギクラミン
★藥價 十日分三圓五十錢、廿日分六圓五十錢、卅日分九圓五十錢、徳用六十日分十七圓五十錢 ★全國一流百貨店に有り。全國有名藥店取次。お急ぎの方は振替か爲替で（送料内地廿五錢、外地五十錢を添へ）左記發賣元へ御註文次第急送致します。
（朝鮮代理店）京城・木村藥房 平壤・森田藥房 清津・北島藥店
發賣元・原 東京市目黒區洗足驛前七丁目 化學研究所 振替東京八四五〇番
（西部日本代理店）大阪東區心齋橋筋 高橋盛大堂

大前に額く奉拜者
完勝祈願に 相踵ぐ人波

【寫眞＝完遂祈願に集ふ半島民草＝朝鮮神宮大前にて】

勝つて勝つて勝ち拔くべし、緖戰の勝利を最後まで勝ち遂げようと一億總決集の總意が總て聖戰の完勝に邁進それが國民一億の一大願となつて大東亞戰爭完遂祈願祭がけふ小磯總督、板垣軍司令官以下多數官民代表參列の下に朝鮮神宮大前でいと嚴かに執り行はれた、この朝神宮境内には早くも玉砂利に伏す完遂祈願者の眞摯な姿が十時からの祈願祭に先立ち未だ朝もやに明けやらぬ大前に見うけられ明くれば、また祈願參拜者一しほに增し、新年を間近に控へた京城府民の年末のそのあわたゞしさを押し鎭める嚴肅敬虔なる祈願者の列、いづれも國民服に戰鬪帽、または紋服に襟を正した婦人の姿など、さすがにけふの盛儀に應へての祈念も床しい

正午までの個人參拜者がざつと一萬五千、なほ午後までに續々と引續いた參拜者の數はおそらく五萬に達するであらう・殊に目立つた半島紳士の祈念する姿は聖戰第二年への逞しい皇民譜を胸にはらませて足取りも輕い

日の丸餅獻納

【東京電話】有馬賴寧伯を會長とし農林、水產關係學校職員、技術員および農林、水產業者をもつて組織する全國學農聯盟では戰勝年を感謝する意味から會員に日の丸餅供出を勸めた結果全國各地から約五百卅貫ねが集まつたので有馬會長、安藤理事がこれを擁へ廿四日午前十一時まづ明治神宮、靖國神社に獻納、ついで各宮家にも獻上申上げた

陸鷲奇襲のカルカッタ
英印度軍ゲリラ戰の基地
三井物產出張所前川氏に訊く

【釜山電話】チッタゴン港奇襲に敵英の心膽を寒からしめたわが陸鷲は更に翼をのばして昂鵬カルカッタを强襲、印度よりする空中ゲリラ戰の根源を粉碎した、南方の聖者ガンヂーを幽閉する英印度軍の飜覆もさることながら日獨伊完全握手の場所としてのインドがカルカッタの奇襲によつて再び世界人心の中に强く描かれたのだ、印度の元首都カルカッタとはどんな所か―昭和十四年同地から歸つた三井物產釜山出張所次席前川和右衞門氏にカルカッタの性格をきく

『ベンガル州政廳の所在地カルカッタは人口百六十萬印度最大の都市だ、住民の大部分はベンゴール人、このベンゴール人は印度人の中でも政治的色彩の濃厚な種族でガンヂー翁の政治活動の中心地でもあり、とれだけに英國としてもその取扱ひに腐心してゐる所だ、英印軍はこのカルカッタを基地としてビルマ奪回の空宣傳を行ひ、泰、ビルマに果勇なゲリラ戰を試みて來たが、今回の無敵荒鷲の猛襲でその蠢動を封鎖されたわけだ、その監獄にあるガンヂー翁はインド人のインド建設に關し新たな構想を練つてゐることだらう、とにかく印度洋の制海權を喪つた英印軍運命の歸趨もどうやら形がつきさうだしカルカッタ空襲は近來の痛快事だつた』

【寫眞＝カルカッタ市街と前川氏＝釜山支局撮影】

音樂競演會へ選者

蘭寮、音樂を通じて戰時國民の健全娛樂を圖ると共に健全な國民音樂の發展に寄與する目的の朝鮮音樂協會主催第一回音樂競演會は去る十一、二兩日京城府民館で開催されたが、このほど次の通り入選者が發表された

◇聲樂部【中等科】一位堀妙子、二位濱田美惠子、三位宮育勝、次點池田亥子【初等科】一位劉齊南、二位汝川貴子、三位齊雅□子 ◇聲樂部一位花島勝、二位柳澤順三位妻俊熙、三位高癸喜、四位金在建 ◇洋琴部二位金愛福、同花村美代子 ◇提琴部二位木村敏男、同烏川季洲

翼贊大道を驀ら
けふ決戰議會幕開く

【東京電話】さア、二年目も勝ち拔くぞ―一億國民が勝つて必勝を期する大東亞戰爭下に開れた第二回の通常議會は廿四日召集された輝く大戰果を表徵するかのやうに冬空に凛然と鑠え立つ白堊の殿堂―貴、衆兩院の議員達は自家用或はバスで九時前ごろから續々登院を開始した、モーニング或は國民服の誰もが全國民の信賴をその雙に政治翼贊の大道に御奉公するの固い決意を胸に秘めてゐるかのやうで賴母しい限りである

一方衆議院の有志代議士は八角三郎、四王天延孝氏等の發起で冷衆ももののかは、この朝午前七時明治神宮の社務所近くの宿舍に集合、明治神宮、靖國神社に參拜して大東亞戰爭の完勝を祈願、更に宮城を奉拜して前古未曾有の重大時局に際會し大御心を奉戴して御奉公の赤誠を致さんとの覺悟の程を誓ひ奉りてから登院する等、洵に決戰議會の名に相應しい場面が見られた

午前十時過ぎ衆議院の議場が開かれ、繩上げ當選の赤間德壽氏の挨拶に始まり、議席の指定、部屬の抽籤、部長及び理事互選の結果報告があり、貴族院も部長、理事の報告等があり、斯くて兩院成立の手續きが行はれ茲に第八十一議會の幕を切つて落した

議會は今日召集とは言へ既に政府は決戰體制に必要な各種法律案の提出準備を行ひ、これに呼應して衆議院は去る十五日から、貴族院は十六日からそれぞれ議事堂内でこれ等法律案のほか百億豫算の審議を始めたが、この日も午後の衆議院では大藏省所管豫算を引續いて審議する等實に官民一體一丸となる熱い息吹きが感ぜられるのであつた

お年玉にゴム靴
近く第五回分を配給

南の封印も嬉しい前線から銃後への贈物、生ゴムで造られた戰勝ゴム靴の第五回配給は當局が勝ち拔く新年を迎へる半島二千四百萬へのお年玉として年内に配給することゝなつてゐる、そのうち京城府内へは卅三萬七千八百足が割當てられ銘柄は總ゴム靴六萬八千八百足、紐ゴム靴三萬六千、學童用運動靴十七萬六千四百九十、同防寒用六千三百十、一般用運動靴三萬四千、同防寒用四千五百廿、地下足袋二萬一千七百足の大量が入荷する豫定である

米國、バターその他に割當制

【ブエノスアイレス廿三日同盟】アメリカの食糧不足は次第に深刻を加へつゝあるがワシントン來電によれば農務省は廿三日明年早々さらにバター、ラード、ヘットの三品目に對し割當制を實施する旨發表した割當額は現在の消費額を約一割五分削減した程度と思はれる

和かに歡談
汪氏 近衞公を見舞ふ

【東京電話】來訪中の汪精衞氏は繁忙の日程を割いて廿四日午前十時、去る十月中旬から帝大病院に入院中の近衞文麿公を見舞つた、手傷ひ見舞ふ汪氏は新調の國民服、これを迎へた近衞公は退院前の身を紋服に包み帝大安田講堂二階貴賓室に迎へて汪院長の來訪を待ちうけ、清水大東亞省書記官、周國民政府外交部次長が通譯として同席した以外全く水入らずの歡談である、戰亂極まりない世界情勢の中に堂々大東亞建設の巨歩を踏み進める日本の姿を野に在つて凝視する近衞公、今や新生中國の運命を雙肩にになつて活躍する汪院長、歷史上一轉機をつくつた人々の時の流れに對する感慨は深い、汪院長が新生中國の進路は日本との提携のみにありと說じて重慶を脫出し和平救國を聲明したのは昭和十三年の十二月二十二日のこと、これと時を同じうして大東亞建設の構想を明かにし『近衞聲明』を發表したのは當時の近衞首相その人だつた、當時を思ひ、現在を思ひ、早期の輝き歷史の流れに二人の胸に去來する感慨につきせぬものがあらう、和やかな歡談三十分、百年の知己の如く結ばれた心は云はずして解け合ひ、同十時四十分名殘を惜みつゝ會見を終り、退院をあすに控へた近衞公は前も明るく汪氏を室外に見送つた

滿洲建國廟
淨月區に決定
青少年錬成機關も設置

【新京電話】滿洲建國神廟御造營の聖地は本年七月敕令をもつて新京特別市淨月區と決定したが、その神域については國務院報告をもつて三千町歩、御造營に關しては近く國務總理を委員長とする建國神廟造營準備委員會が勅令をもつて官制公布され實行に着手する運びとなる模樣である なほこの外苑には全國青少年の各種鍛成機關が設置される筈で、この程發表された、この神域は淨月潭を中心に新京特別市、長

戰中北の護りの重責を果す滿洲國の焦眉の急務として叫ばれてゐる航空第一線の擴充即ち青少年の滑空鍛成場が大規模のもとに構築される筈で新京特別市が中心となり官民航空關係機關の手で準備が着々進められてゐる

耳 コマク
先づ御申込あれ 説明書贈呈
偉大なり科學の力！ (創業二十年)
コマク破れの方には即座に聽えず又動ける 人目に見えず何時でも 浴も可、忍ち夜の外す 付けし心持其の他明
歐氏管治療器 等各種
大阪港區四條通二丁目(電港九五八)
エヂソン商會
東京文京店 東京都小石川區...(電話小石川...)

物資も豐富 和かな市民
イタリーの歳末風景

【ローマ廿一日同盟】米軍の北阿上陸はイタリーの人心にかなりの衝動を與へたが、その後樞軸軍の奮戰はチュニジヤの戰況を日一日と有利に導きつゝあるので國民も平靜な氣持で戰時下三回目のクリスマスを迎へようとしてゐる

イタリーでも燃料節約のためいづれの家庭でも暖房を廢止してゐるが今年は例年に比し遙かに暖かく南歐特有の美しい冬空のもとにローマ市には數月來和かな年末の買物の人で賑つてゐるしかし各市の物資統制はここでも例外なく衣類や皮製品は切符制となつてをり貴金屬、硝子製品、陶磁器は販賣禁止なのでクリスマスプレゼントの選定はなかく難しく結局子供の玩具が一番人氣を呼んでゐる、クリスマス料理に缺くことの出來ない七面鳥、鷄、家鴨はまた切符制にならず果物、野菜も自由に買へるので各家庭の主婦もまた相當腕を振ふ餘裕があるが魚類はやゝ不足してをり、二十四日の夜半に祝はれるシャンペン酒だけは無制限に賣出される

平時ならば二十四日の夜半に行はれるクリスマス前夜祭の彌撒は燈火管制で暗くならないうちに歸宅出來るやうにと今年も昨年同樣午後四時に繰上げられた

結核 虛弱
呼吸器を强化し、体力を落さぬやう肝油より榮養豐富な全肝臟を！
農林省水產試驗場創製
水產化學工業製造
エーデー

株式 主力冴えず一弱保合

前場 主力株の不冴えは一般の買氣を萎縮せしめ新規商内は殆んど見當らず概ね手詰め商内であつたが、後つて相場はいづれかといへば弱保合ひ圏内にあり、目先も閑散不振は免かれ難い情勢にある、併し投機的色彩をおびてゐるものは別だが一般事業株の中で堅實なるものは押目を待つて買ひ拾はんとする傾向が濃厚であるだけにこゝ買はれないまでも深押しがあるとは思はれない、なほ短期主力株の推移は新東八十六円八十錢と二十錢安に寄付きあと六円六十錢の安値をつけたのち七円台に捲げて小往來、新鐘七十三円五十錢と十錢方軟調、朝新廿三円二十錢と四十錢方續落、高周波五十二円六十錢と十錢方引締めた、同社は今期一分程度の減配は業績低下によるものでなく謂はゞ自衞減配であるだけに內容的にみてはむしろ含みを持ち生產コストも顧慮り二百円見當引下げられ、これと同時に特殊鋼の買値引上げ說もあるので株價は今後安定するものと見られる

後場 (高々)下値には賣方の利喰ひ買物あり新東十錢方引締めたが、新鐘は逆に四十錢方下押して高低區々であつた

『實物』呆り

好材料薄勞々環境の不振狀態は勞ひ新規買ひを阻み諸株とも呆り商狀を呈した、僅かに朝鮮水力新株が押目買氣が溶流してゐる程度で一般投資筋は環境の落つきを待つて對處せんとする振合ひが見受けられた

朝取一般取引員
吉村取引店
京城黃金町

株式 (廿四日)

朝取短期

銘柄	前寄	引	高	安	後寄
朝新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高周波	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岩村	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
川崎重	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

朝取實定日步 (前場大引)

銘柄	實定	日步
朝新	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
高周波	[illegible]	[illegible]

大株短期

銘柄	前寄	引	高	安	後寄
大新	四〇・二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱工	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戶鋼	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

短期 九二・六六〇枚 累計 一一三七〇・三六〇枚

銘柄		一節	二節	三節	引
郵船	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
チツ	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
ソ	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日紡	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿業	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鋼管	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日鑛	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株短期 (第一部) (前場大引 一〇・四七分)

銘柄	前寄	引	高	安	後寄
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鋼管	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

(第二部)

銘柄		寄	中	引
滿鐵	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北炭	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新洋レ	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小倉	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
麥酒	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
塩水	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日鑛	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿業	前後	[illegible]	[illegible]	[illegible]

前場大引 一〇・四九分

東株長期

銘柄	前場	後場
高周波	[illegible]	[illegible]

東株短期喰合

銘柄	賣	買	取組高
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株短期喰合

銘柄	賣	買	取組高
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]

△橫濱生糸 (一節 二節引)

	一節	二節引
前場當限	[illegible]	[illegible]
先限	一四〇〇	一四〇〇
後場當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

鮮銀發行高 (廿三日) [illegible]

現株仲値 (廿四日十一時調)

◇銀行株		◇運輸株	
鮮銀	[illegible]	朝鐵	[illegible]
殖銀	[illegible]	朝運	[illegible]
同新	[illegible]	一新	[illegible]
商銀	[illegible]	二新	[illegible]
同新	[illegible]	京春	[illegible]
一銀	[illegible]	京東	[illegible]
二銀	[illegible]	京南	[illegible]
三銀	[illegible]	朝運	[illegible]
貯銀	[illegible]	◇電氣株	
東一銀	[illegible]	南鮮電	[illegible]
漢銀	[illegible]	同新	[illegible]
同新	[illegible]	北鮮電	[illegible]
信託	[illegible]	同新	[illegible]
朝無盡	[illegible]	漢水電	[illegible]
◇紡織株			
朝紡	[illegible]		
京城紡	[illegible]		
同新	[illegible]		
朝織物	[illegible]		

京電	[illegible]	◇重化工業	
同新	[illegible]	高周波	[illegible]
西鮮電	[illegible]	龍工新	[illegible]
同新	[illegible]	弘中	[illegible]
朝水	[illegible]	同新	[illegible]
同新	[illegible]	朝機械	[illegible]
◇鑛業株		國產車	[illegible]
小林鑛	[illegible]	朝石油	[illegible]
無煙炭	[illegible]	同新	[illegible]
同新	[illegible]	北鮮紙	[illegible]
三砂	[illegible]	東輕金	[illegible]
日マグ	[illegible]	朝理研	[illegible]
全羅鑛	[illegible]	◇諸株	
製鐵	[illegible]	朝製鉛	[illegible]
岩村鑛	[illegible]	同新	[illegible]
鳳泉炭	[illegible]	東拓	[illegible]
朝陽	[illegible]	同新	[illegible]
		米市場	[illegible]
		◇大陸株	

各地大引一覽 (廿四日後場)

朝取短期

銘柄	大引	高値	安値
朝新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高周波	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岩村	[illegible]	[illegible]	[illegible]
川崎重	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝石	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鋼管	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株短期 (大引 三・二五分)

銘柄	大引	高値	安値
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱工	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戶鋼	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株短期 (大引 三・一六分)

銘柄	大引	高値	安値
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鋼管	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]

後三國志 出師の卷 (39)
(吉川英治作)(矢野橋村繪)

此一戰 (二)

その後、蜀の大軍は、白帝城も溢るゝばかり駐屯してゐたが、敢て發せず、おもむろに英氣を練つて、ひたすら南方と江北の動靜をうかゞつてゐた。

ときに諜報があつて、

『吳は魏へ急遽援軍を求めたらしいが、魏はたゞ吳王の位を孫權へ贈つたのみで、魏丕の態度は、依然中立を持してゐます』

と、傳へて來た。

『朕の豫測に過またず、魏丕は漁夫の利を獲んとするのであらう。よし。さらば立て』

帝玄德は、斷乎として、こゝに帷幕から令を降した。

ところへ、南蠻の沙摩珂が、蠻土の猛兵數萬をしたがへて參加するし、洞溪の大將杜路、劉寧のふたりも手勢を擧げて加はつたので、全軍の戰氣すでに吳を呑み、水路の軍船は巫口（四川省・巫山）へ、陸路の軍は秭歸（湖北省・歸州）あたりまで進出した。

―國難來る。

と、吳帝な緊張に襲はれつゝも、一方、魏のうごきと睨み合せる心理を多分に持つてゐた。この際、他を恃むことの、いかに危險でまた愚なことかを、孫權はすぐ悟つた。魏は依然兵を出さない。

―で孫權はいよいよ一國對一國の大勝負を決意し群臣にこれ諮つたが、閣議は騒然と無謀の緊張を持つのみで、たれひとり自らこの一戰に當らんと意氣を揚げる者もなかつた。

すると、一隅から起つて、慨然とさけんだ者がある。

『君が千日兵を養ひ給ふのは、たゞ一日の用に備へんためである。僕はまだ黃口の若年ですが、こんな時こそ、日頃の机上の兵學を、この敵愾心と、誠忠の心を以て、君に酬はんと思ふ者であります。どうか小生をまつ先に派遣してください』

誰かと見れば孫權の甥にあたる武衞都尉の孫桓だつた。年齡がわづか廿五歲の青年である。

『おゝ、わが甥か』

孫權は眼ざしを潤ませて、いかにも歡ばしげに、彼の願ひを許容した。

『そちの家には李異と謝旌といふ萬夫不當な猛將も二人養つてゐるさうだ。大いによからう、征つて來い。なほ副將には老練な虎威將軍朱然をつけてやる』

かくて吳軍五萬は、宜都（湖北省・宜都）までいそいだ。朱然は右都督。孫桓は左都督として、各二萬五千を兩翼に分つて、蜀に對峙した。白帝城を出て秭歸まで進むところを禦巻して、地方々々の土着兵を收容し、殆ど、颱風の前に草木もないやうな勢ひだつた。

『聞くならく吳の孫桓もまだ嘴の若武者ださうです。この第一戰には、それがしを出して、微と戰はせ下さい』

帝玄德が敵をながめてゐる日、關興はかう願ひ出た。

さきに先陣を爭つて、喧嘩になりかけた例があるので、帝玄德は、

『義弟の張苞もつれて行け』

と、條件付でゆるした。

關羽の子、張飛の子、ふたりは勇躍して、手勢をわけ、まるで黑旋風の如く、吳陣のなかへ馳入つた。

玄德はすぐ馮習、張南の二大將を呼び、

『心もとない。いづれもかゝる大戰に臨むのは初めての若者輩だ。すぐ彌兵をすぐつて彼等の後につづけ』

と、命じた。

結果は、實に蜀の大勝利となつた。吳の大將孫桓も若い初陣でもあつたので、關興、張苞に完膚なきまで全陣地を蹂躙された。しかも左右の旗本と恃んでゐた謝旌は張苞に討たれてしまふし、李異は矢に中つて逃げるところをうしろから迫つた關興のために、その大靑龍刀で眞二つにされてしまふといふ慘敗を喫つたのであつた。

たゞ、張苞は餘り深入したので、氣がついて、引つ返さうとすると關興のすがたが見えない。もしやと、更に敵中へ馳入つて、

『義兄。義兄よ』

と聲かぎり探してゐた。父關羽も父張飛も、ふたりの勇とこの情誼に、魂あらば地下で哭いてゐただらう。

京日特選 高段者勝拔戰

第七局 (圖は前局9八歩迄)

平手 先 七段 △宮松關三郎 六段 ▲飯塚勘一郎

持時間各六時間 消費時間累計 (△廿五分 ▲一、廿七分)

▲飯塚氏 角歩歩歩

△8五桂 ▲7三角 △7七桂成 ▲同金 △9二飛 ▲8四角成 △6五歩 ▲4六歩 △6六歩

木村名人講評 後手八五桂は急所の一擊。次いで六五歩から六六歩の取込みも敵陣を亂して有効である。

先手七三角は銀桂交換だが已むを得ない。此處七六銀では五五角四六歩、六六角で悪い。

日本鍛工推奬

當社株は鍛鋼界で頭發したがデマと同つて戻しつゝある、當社の優秀な設備と利益率の高い事(每期四割五分)から見れば減配の懸念は更にない譯で九分配當券を五分五厘利廻り採算の八十二圓近くに實現確實の最低暗增資の權利七拾を見込んだ百四圓が採算値段である

殷に收益的減配をして八分となるとしても業績が益々安定するから五分利廻り乞充分買へる譯で結局百圓以下、相場は實質から見て買餘地を殘してゐる事になる

京城府黃金町二丁目一九九ノ一
安東證券株式會社

井上家御用達
こしやま
テレフ(4)251

父欣治儀豫而病氣療養中の處養生不相叶遂に二十三日午後七時九十分死去仕候茲に生前の御厚誼を拜謝し旁々御通知申上候

追而葬儀は來る二十五日午後四時自宅に於て告別式執行仕候

昭和十七年十二月二十三日
京城府蓬江通一丁目十一番地
嗣子 井上勇夫

續南の風
廿五日大公開
詩情漂ふ天草の砂丘に登場した お玉は重助に何を語る！ 瑞枝の愛情はどう解決されただらうか？
佐分利信 高峰三枝子 水戶光子 笠智衆 齋藤達雄
演出 吉村公三郎
大陸劇場

わきが 自宅無代進呈 新療法
スツカリとこれで治つて皆さんが大喜びです。
自宅で手術に治る手術の心配のないヨクキク專門藥の『ネオワキトール』あり。水年苦しんだワキガがシイ自宅新療法』を無代でヒミツにお送り申上げます 御ハガキ下さい『ワクワ』
日本醫藥研究所 愛知縣豐橋市西八町ワ四

精力强進劑として卓拔なる效果を發揮する！
參茸トニク
藤本製藥株式會社

株 滿算實物 株
朝鮮取引所一般取引員
古野取引店
資料呈 株式欣呈
京城府黃金町二ノ一九 電話本局四一八九

高
有價證券現物商
株式會社朝鮮取引所一般取引員
高橋國基商店
京城府黃金町二丁目一九九・電話本局③二六一〇・四五六番

短期 株 現物
內海淸藏商店
京城明治町

株式短期現物
東亞證券
朝取一般取引員・京城黃金町二丁目・電話本局代表一五一六

株式を通じ生產擴充
歲末御挨拶
謹みて皇運の彌榮を祈念し、皇軍將兵士の武運長久を切願、併せて諸賢各位の御多幸な御越年を祈る矣
大東亞戰爭完勝を必期し靜かに昭和七年を送る、聖戰第二年目も勝ち抜くぞの意氣は高らかに
朝鮮取引所取引員
白井株式會社
京城黃金町
電話本局代表二一二〇

城寶樂劇隊
一番組
一部 (唄と踊り) 江口豐構成演出
二部 (喜劇) 萬華鏡 十四景 白川友彥脚色
三部 (グランドショウ) 新體制女中 二景 江口豐構成
城寶傑作集 十八景 振付 東寶舞踊隊 編曲 徐永 裝置 高垣昇 照明 佐藤五郎
音樂 城寶管絃樂團
二十五日より三日間 連日晝夜二回 晝一時・夜六時半開演
京日鍾路文化劇場

評判をお聽きになりましたか！
京洛の舞
阪東壽三郎 坂東好太郎 河村黎吉 德大寺伸 高山德右衞門 月形龍之助 高峰三枝子
松竹映畫
野村浩將演出
瀧石野村浩將が一つの風格を持つ堂々たる力作であるばかりでなく之は久しぶりに近頃大いに樂しめる時代映畫だと皆日を期して居る
社團法人朝鮮映畫配給社配給
明日の祭日は早朝九時開場
(獨占上映)
京城寶塚劇場

開戰前夜の
卷渦に篇全！奮興と慄戰 一下天は流奔のルリスく 凄のりかばる詰息に正品 ！る上盛てつ以をさじ
あなたは狙はれてゐる
伊澤一郎 水島道太郎 川村禾門 月形龍之助 千明明子
明日の祭日は九時開場
映
若草劇場 明治座

醫療藥品
體位向上資材
特撰救急箱 正蛔蟲藥 發賣元
立正堂 株式會社
京城櫻井町一丁目一八一 電話本局②三三〇番
(商報發行)

◆齒痛にネオセドリン◆

榮養クリーム
レポスキン
老やすい御方
日ヤケ止めと御化粧下に
ニキビの出來やすい人、
御ヒゲソリのあとに！
東京 キンレイ化學研究所 發賣元

內科專門
普通病室・完備 傳染病室・呼吸器病室
田中丸病院
院長 醫博 田中龍均
副院長 醫師 平木寬行
京城府西小門町四七
電話光③一四二三・八八五